

令和5年度事業報告

1. 総括

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に第5類に移行し、社会全体が以前の活動を取り戻しつつある中、糸島市社会福祉協議会としてもコロナ禍前の取り組みを目指して事業を推進した。

特に、令和5年6月に策定した「第1次糸島市社会福祉協議会発展強化計画（令和5年度～令和7年度）」の計画推進のために、所管課チームを構成し、24の実施項目の達成に向けて取り組みを開始した。

小地域福祉活動の推進においては、日頃からの見守り体制の構築のため校区社会福祉協議会（校区社協）の協力で、見守り台帳の整備に取り組んでいるが、令和5年度は3年に1度の「一斉確認調査」を実施し、登録者情報の更新を行った。

重層的支援体制整備事業（重層事業）の推進として、多機関の協働による包括的支援体制構築事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業及び参加支援事業が連携をして、事業の推進を図った。重層的支援会議や支援会議、庁内連携委員会などの様々な場で糸島市の重層事業の方向性等について協議検討を重ね新たな連携の構築を図った。

介護事業においては、コロナ禍の影響もあり利用者の減少が続く中、依然として厳しい事業運営が続いている。安定した事業所の運営ができるように、管理者会議等を活用して動向把握に努めた。また、虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置して虐待防止の取り組みや研修等を行い、利用者及び家族に安心して利用してもらえる環境づくりを進めた。

（1）小地域福祉活動の推進

校区社協を通じて、高齢者をはじめとする見守り活動を実施しているが、令和5年度は見守り台帳の対象年齢の見直しを行い、新規調査対象者の一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の年齢を65歳から70歳に引き上げた。

また、校区社協へ一人暮らし高齢者等見守り助成金について、一人暮らし高齢者

の数に応じて助成金を算出していたが、重層事業の推進に伴い、一人暮らし高齢者数のみではなく、住民数に応じた助成金の支出方法に見直しができないか校区社協と協議を行い、令和6年度から実施することにご理解をいただいた。

小地域福祉活動を積極的に取り組まれている地域で、活動をより一層活発・活性化するために、小地域ネットワーク福祉会について検討されて立ち上げのための説明や相談支援を実施した。

(2) 地域福祉活動計画の推進

計画の推進については、それぞれの分野ごとに年次計画に合わせて事業を遂行し、推進委員会において進捗状況の報告を行った。

令和5年度は糸島市社会福祉協議会発展強化計画の策定や、福祉教育プログラムの作成、相談支援ガイドブックの作成などに取り組んだ。

推進委員会の開催も2回実施して、地域福祉活動計画推進に伴い意見をいただく機会を増やした。

(3) 地域ささえあい会議の充実

地域ささえあい会議は、生活支援体制整備事業と共助の基盤づくり事業共通の取り組みとして各校区社協で実施している。運営支援や会議の方向性を定めるために、校区社協の世話役の方と地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネータと市役所職員、市社協コミュニティソーシャルワーカーで事前協議を行い、地域課題の把握や課題解決に向けた新たな取り組みについての協議を行った。

(4) ボランティア活動、福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、市民のボランティアに関する啓発やボランティア派遣等のコーディネートを行った。

また、「いとしま Fun2023」では、日頃のボランティア活動を市民へ周知する機会やボランティア同士の交流の場となるイベントを開催した。ボランティアの意識向上や活性化につながる場となった。

糸島市社協ボランティア連絡協議会（ボラ連）では、ボランティア活動の活性化のために小郡市ボランティア連絡協議会へ視察研修を実施し交流を図った。

福祉教育の充実では、小学校及び中学校からの依頼を受けて学校のニーズに応じたプログラムを実施した。

福祉教育の内容についても、引き続き福祉教育プログラムの検討を行い、次年度には策定できるように取り組む。

（５）重層的支援体制整備事業の推進

重層的支援体制整備事業では、多機関の協働による包括的支援体制整備事業で複雑化・複合化した課題を抱える世帯への相談支援を実施し、相談支援機関との連携を深め相談者に寄り添った支援が実施できるように取り組んだ。

支援者支援の取り組みで相談支援ネットワーク研修会を開催し、支援者同士の顔の見える関係性作りや相談に対して複合的に対応する意識づくりができた。

本会としても、多機関の協働による包括的支援体制整備事業や参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、基幹型地域包括支援センター、障がい者相談支援センターとして、重層的支援会議に参画し糸島市の重層事業の推進を行った。

様々な機会でも重層事業の周知を図り、糸島市全体で事業を推進できるように取り組んだ。

ふれあい生きいきサロンに関しても、参加者を地域の中の子育て中の親子や障がいのある人で社会参加の機会が少ない方なども、参加できるような体制づくりを進めた。

（６）権利擁護事業の充実

権利擁護事業の充実では、成年後見制度利用促進事業の推進について市と協議を重ねた。令和6年度から「糸島市成年後見センター」を設置し、市委託の中核機関業務の一部と本会独自の法人後見事業や日常生活自立支援事業と一体的に実施していくこととした。

日常生活自立支援事業や法人後見事業では、市民後見人養成研修修了者による市

民支援員の活動も定着し、安定した支援が実施できた。今後も利用者の増加が図れるように支援員の体制確保に向けた整備を推進する。

(7) 安定した介護保険事業等の運営

介護保険事業等では、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会を発足して、虐待や身体拘束等の防止を図ることはもとより、研修会を開催し介護職員等の更なる意識付けとなるように取り組んだ。この取り組みは、利用者及び家族へも周知を実施して安心して利用できる環境づくりに努めた。

デイサービス事業では、コロナの影響により利用者が利用にあたり慎重になっていて、利用者数は以前のように戻ってない状況であるが、特別支援学校の実習生を積極的に受け入れて、生活介護や共生型サービスの新規利用者に繋げた。

訪問介護事業は、安定的な事業所運営が行えているが、訪問介護員の不足状況は改善できていない。

また、放課後等デイサービスも同様に職員不足の課題があり、採用しても直ぐに離職するものが増えてきた。この課題は、本会だけではなく、他の放課後等デイサービスを運営する事業所でも同じ課題を抱えている。本会の事業の特色を示して職員定着が図れるように努める。

(8) 財政運営の適正化

令和5年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入8億4,541万円、事業活動による支出8億468万円で、事業活動資金収支差額4,073万円となり、施設整備等による支出182万円と全国社協の退職積立金や福祉積立金(1,500万円)を含むその他の支出1,550万円を差し引いた当期資金収支差額は2,341万円となり、3年連続黒字となった。

収入に関しては、前年度決算比で851万円増額し、支出では、前年度決算比で882万円増額した。

黒字決算となった主な要因として、介護事業等から市へ行政財産使用料として過払いとして支払った令和元年度から令和4年度までの使用料の返還金1,582万円

及び令和5年度減額をされた使用料 412 万円によるものと、受託事業の一部が赤字から黒字へ転換したことなどがあげられる。

(9) 発展強化計画の策定・推進

令和5年6月に策定した「糸島市社会福祉協議会第1次発展強化計画（令和5年度～令和7年度）」に基づき、実施項目ごとに所管課を設定しチームを設置して計画を推進した。3年間の計画実施に合わせて年次取組計画や評価指標達成に向けて取り組んだ。

また、計画の進捗状況を課長会議で諮りながら、計画の評価等を含む計画の推進体制を構築した。

実施項目によっては、既に取り組ができたものもあって計画初年度ではあったが、スムーズなスタートとなった。

(10) 災害支援対策

災害支援対策として、「災害ボランティア活動に関する協定書」を令和5年10月に糸島ライオンズクラブと締結し、既に協定締結している糸島青年会議所とともに、糸島市で災害が発生した際に支援をいただける連携体制を整えた。

また、災害時支援として令和5年度は、本会が有する災害ボランティアセンターで活用する資機材を、那珂川市、広川町、東峰村へ貸し出しを行った。特に、那珂川市へ貸し出しを行う際には、糸島青年会議所の協力を得て、運搬車両の提供及び会員の協力を得て、トラック4台分の資機材の運搬を行った。

災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しについて、福岡県社協のモデルマニュアルを参考に検討を進めており、令和6年度中に改訂を行う予定としている。

2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会4回 評議員会3回 監査1回

【理事会】(定数11人)

開催日	出席	議案事項
第1回理事会 6月8日	11人 監事1人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和4年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和4年度決算及び監査報告について 3 糸島市社会福祉協議会第1次発展強化計画の決定について 4 任期満了に伴う社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事・監事候補者の推薦について 5 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 6 任期満了に伴う社会福祉法人糸島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について 7 定時評議員会の日時・場所及び議題等について
第2回理事会 6月23日	11人 監事1人	8 会長、副会長及び常務理事の選定について
第3回理事会 12月21日	11人 監事1人	9 令和5年度第1次補正予算について 10 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会事務局規程及び社会福祉法人糸島市社会福祉協議会庶務規程並びに社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職員の給与に関する規程の一部改正について 11 糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション運営規程及び糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション障害者居宅介護等事業運営規程並びに糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション同行援護事業運営規程の一部改正について 12 令和5年度第2回評議員会の日時・場所及び議題等について
第4回理事会 3月14日	11人 監事1人	13 介護保険事業及び配食サービス事業における徴収不能債権の欠損処分について 14 糸島市成年後見制度利用促進事業の受託について 15 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 16 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 17 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職員の給与に関する規程及び社会福祉法人糸島市社会福祉協議会一般職員の給与に関する規程の一部改正について 18 令和6年度事業計画について 19 令和6年度資金収支予算について 20 令和5年度第3回評議員会の日時・場所及び議題等について

【監査】(定数2人)

開催日	出席	議案事項
5月30日	2人	決算監査 令和4年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数21人)

開催日	出席	議案事項
第1回評議員会 (定時評議員会) 6月23日	18人 監事1人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和4年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和4年度決算及び監査報告について 3 任期満了に伴う社会福祉法人糸島市社会福祉協議会理事・監事の選任について
第2回評議員会 1月12日	18人	4 令和5年度第1次補正予算について

第3回評議員会 3月22日	18人	5 介護保険事業及び配食サービス事業における徴収不能債権の欠損処分について 6 糸島市成年後見制度利用促進事業の受託について 7 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款の変更について 8 令和6年度事業計画について 9 資金収支予算について
------------------	-----	---

(2) 会費

行政区をとおして市民の方々に協力をいただく一般会費（ささえあい費）と行政区長や民生委員児童委員協議会、市役所職員、市社協役員などに協力いただく賛助会費、団体等に協力いただく特別会費がある。

自主財源確保のため、「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けている。

・会費収入 3,012,451円（参考：令和4年度3,137,145円）

- ① 一般（地域ささえあい費）23,484口 2,348,451円 ② 賛助会費 644口 644,000円
③ 特別会費6口 20,000円

参考

（一般100円 賛助1,000円 特別5,000円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般（ささえあい費）	2,373,770円	2,380,732円	2,404,145円	2,348,451円
賛助会費	727,000円	698,000円	703,000円	644,000円
特別会費	30,000円	30,000円	30,000円	20,000円
合計	3,130,770円	3,108,732円	3,137,145円	3,012,451円

(3) 寄付金

寄付金については、香典返し等の減少により厳しい状況が続いている。寄付金増収のために、会費同様に「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けている。

・寄付金収入 92件：2,303,759円

【内訳】

香典返し 76件：1,974,500円

一般寄付 16件：329,259円

参考

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し	60件	1,285,000円	62件	1,561,000円	63件	1,800,000円	76件	1,974,500円
一般寄付	30件	556,631円	31件	753,128円	28件	8,209,252円	16件	329,259円
合計	90件	1,841,631円	93件	2,314,128円	91件	10,009,252円	92件	2,303,759円

※令和2年度香典返しには初盆返しを含む。

令和4年度一般寄付には遺贈寄付を含む。

(4) 会議及び社協職員研修

- ・課長会議 23回開催 原則毎月2回開催
- ・衛生委員会 12回開催 原則毎月開催
- ・人権学習 13回開催 各事業所にて開催
- ・苦情解決第三者委員会 1回開催
第三者への苦情相談件数 0件
会議：令和5年11月22日
内容：各事業所からの重大ヒヤリハット報告

(5) 経営基盤強化委員会

開催日 5月13日開催

- ・発展強化計画策定に向けた協議
令和5年6月に第1次発展強化計画（令和5年度～令和7年度）策定

(6) 災害支援対策

- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練

開催日 5月12日開催

参加者：糸島青年会議所、ライオンズクラブ、防災士会「てまがえ隊」、市民防災士、市地域福祉課・危機管理課、県社協、市社協 計49人

- ・災害ボランティア連絡会

開催日 5月12日開催

参加者：糸島青年会議所、市地域福祉課・危機管理課、県社協、市社協、計16人

3. 住民参加による小地域福祉活動事業

(1) 校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容
波多江	理事会、会計監査、総会、ママといたずらキッズ（子育て支援 年7回）、理事研修会、地域ささえあい会議、広報委員会、福祉だより「福祉の窓」発行（年3回）、民生児童委員・福祉委員合同研修会認知症「捜索」訓練、ふれあい事業（ひとり暮らし高齢者の集い）ふれあい事業（お茶・お茶の葉・餅など物品配布による見守り年5回）
東風	理事会、総会、理事視察研修、合同委員会（民生児童委員・福祉委員）（年3回）、地域ささえあい会議（年2回）、65歳以上単身高齢者訪問（年3回）（弁当・餅・レトルト食品等配布）、75歳以上高齢者世帯訪問（年3回）（ごみ袋配布）、ふれあいの集い（年1回）、はるかぜキッズ（子育て支援 年7回）、広報「福祉の羽衣」発行（年3回）、校区文化祭、九大留学生との交流
前原	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報委員会、役員会、先進地視察、校区社協だより発行（年3回）、校区社協研修会、前原ふれ愛の会（ひとり暮らし高齢者の集い）、ひとり暮らし高齢者見守り事業（ごみ袋訪問配付等 年3回）、高齢者世帯訪問、小地域福祉活動研修会、サロン選抜対抗ダーツ大会、すまいる広場（子育て支援 年12回）、民生児童委員・福祉委員合同会議（年2回）、講演会
前原南	役員会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、福祉だより「南天」発行（年3回）、一人暮らし高齢者定期巡回（年6回）と定期訪問（年2回）、南天の集い（行政区ごと）、講演会、小学校訪問、まつり南、文化祭福祉賛助会への寄付の依頼・お礼、ちびっこみなみ（子育て支援 年12回）、交流会（みかん狩り）、チャリティー福祉もちつき、福祉講演会
南風	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、高齢者訪問（75歳以上対象）、ふれあい訪問（75歳以上一人暮らし対象 年2回）、歳末見守り訪問（70歳以上一人暮らし対象）、ふれあい交流会（モルック）笑顔写真撮影会、福祉に関する研修会、南風落語会、福祉委員・民生児童委員合同会議、レクリエーション大会（モルック）、スマホ写真撮影講座、ふれあいバス旅行、ひまわりキッチン（年3回）、子育て支援ひまわりの会
加布里	理事会、総会、地域ささえあい会議、校区民児協会議（年5回）、民生児童委員・福祉委員合同会議（年2回）、福祉委員会議（年4回）、校区役員・部会長会議（年2回）、広報「道しるべ」発行（年4回）、ふれあい訪問、65歳以上単身高齢者：市指定ごみ袋、清涼飲料水、JA めんの配布（年4回）、75歳以上夫婦世帯：JA めんの配布（年1回）、のぞみの会「一日旅行」（単身高齢者の集い）、子どもふれあい教室（年5回）、小地域ネットワーク交流会、ふるさと文化祭、シニアクラブ連合会との懇談会、活動支援（母子寡婦福祉会）
長糸	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年3回）、長期療養中高齢者訪問（お見舞い）、一人暮らし高齢者訪問（生活必需品、温湿時計、弁当 年4回）、85歳以上訪問（花束）、移動スーパー「いと丸くん」、団体助成、安心ネット長糸、自主運行バスの運営支援、地域カフェみらい、研修座談会（民生児童委員・福祉委員・福祉協力員）、長糸小学校訪問
雷山	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、民生委員・福祉委員合同会議（年2回）、男性料理教室、にこにこ広場（子育て支援）介護予防講習会、広報委員会（年6回）、五者会議、健康講話、にじの会愛のふれあい配付活動（年3回）、にじの会集い（年1回）、ふれあい訪問活動月間（一人暮らし・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問）、視察研修、施設訪問（保育園・小学校・マイネスハウス・富の里）、米寿のお祝い
怡土	理事会、総会、役員会、やよい活動（高齢者訪問）と地域ささえあい会議（年3回）、いきいきサロン代表者会と交流会、社協だより発行（年3回）、いとキッズ（子育て支援 月2回）、地域ささえあいサポーターと校区社協懇談会、怡土小・前原東中授業参観と民生児童委員懇談会、地域福祉研修会・福祉委員会、地域福祉研修会（区長、コミュニティセンター長、民生委員、福祉委員）、民生児童委員と福祉委員合同会議

校区名	主な事業内容
一貴山	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、子育て支援事業、福祉だより発行（年3回）、ふれあい事業（弁当配布等 年3回）、高齢者見守り事業（お茶、お菓子の配布等）、いきいき一貴山お楽しみ会（年2回）、サロン代表者会、男性の料理教室、先進地視察研修、民生児童委員・福祉委員交流会
深江	役員会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、高齢者見守り活動（年4回）、ひとり暮らし高齢者お楽しみ会、広報発行「ほっとタイム深江」（年3回）、福祉委員・民生委員交流会、高齢者講座、グラウンドゴルフ大会、視察研修、バスハイク、あったかコンサート
福吉	理事会、会計監査、総会、役員会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、ふれ愛物品配付（年3回）、高齢者講座、福吉ふれあいの会（ひとり暮らしの集い）、グラウンドゴルフ大会、ふれあいコンサート、視察研修、高齢者お楽しみ会、高齢者と子どものふれあい交流会、理事・福祉委員交流会
可也	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報誌発行（年3回）、川辺の里の集い（一人暮らし高齢者）、見守り活動物品配布（年3回）、民生児童委員交流会、福祉委員交流会、福祉委員研修会、民協・福祉委員交流会、可也小あいさつ標語依頼、可也校区交流研修会（民生委員・福祉委員・区長）
桜野	理事会、会計監査、総会、役員会、地域ささえあい会議、広報誌「愛・さくらの」発行（年4回）、一人暮らし高齢者見守り活動（年2回）、一人暮らし高齢者と桜野小児童の交流会、愛のしあわせ配布事業（年3回）、視察研修会、桜野校区文化祭、異文化交流餅つき大会、高齢者元気ふれあい事業「桜野校区芸能・のど自慢大会」、校区社協役員・福祉委員・ボランティアサークル交流会、「楽しく健康づくり」事業、安心安全見守り事業、サロン補助事業、子育て支援事業
引津	会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報発行（年3回）、視察研修、一人暮らし高齢者見守り訪問（年3回）、おたのしみ会（一人暮らし高齢者のつどい）、一人暮らし高齢者年賀はがき送付、チャイルド広場（年2回）、ゴキブリハウ酸団子づくり及び一人暮らし高齢者への配布（引津小との連携事業）

(2) 校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

- ・会長・事務局長会議
 - 第1回開催日 6月16日
 - 第2回開催日 2月9日
- ・事務局長会議
 - 第1回開催日 7月26日
 - 第2回開催日 11月8日
 - 第3回開催日 1月31日

(3) 小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

- ・小地域ネットワーク福祉会 16団体
 - ①松隈福祉会 ②初福祉会 ③師吉団地福祉会 ④大石福祉会 ⑤稲葉福祉会
 - ⑥師吉福祉会 ⑦大町福祉会 ⑧御床福祉会 ⑨西貝塚福祉会 ⑩芥屋福祉会
 - ⑪神在三区福祉会 ⑫東蔵持福祉会 ⑬老松町福祉会 ⑭池田南福祉会
 - ⑮白浜町福祉会 ⑯南風台6・7丁目福祉会
- ・小地域ネットワーク福祉会連絡会議 開催日 3月5日

福祉会の活動の報告やコロナ禍での活動について、各福祉会より報告をいただき、情報共有を行うことで有意義な意見交換の場となった。

(4) 見守り台帳の整備と支援態勢づくり

見守り台帳の取り組みでは、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進した。

令和5年度より一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の対象年齢を65歳から70歳に引き上げた。

新規調査対象者398人に校区社協を通じて聞き取り調査を実施した結果、356人が新規登録された。

また、令和5年度は3年に1度の一斉確認調査も実施して、登録情報の確認等を実施して、登録者の合計は6,831人の登録となった。

校区別対象者集計（令和6年3月末現在）

校区名	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	201人	244人	61人	50人	0人	556人
東風	114人	195人	52人	18人	0人	379人
前原	228人	413人	67人	66人	0人	774人
前原南	170人	179人	42人	39人	0人	430人
南風	58人	179人	34人	31人	0人	302人
加布里	194人	326人	85人	44人	0人	649人
長糸	51人	106人	20人	19人	0人	196人
雷山	65人	155人	32人	19人	1人	272人
怡土	184人	458人	100人	44人	1人	787人
一貴山	105人	164人	63人	24人	0人	356人
深江	194人	288人	109人	35人	0人	626人
福吉	107人	228人	51人	25人	2人	413人
可也	182人	218人	85人	49人	2人	536人
桜野	56人	55人	37人	20人	0人	168人
引津	117人	134人	99人	37人	0人	387人
計	2,026人	3,342人	937人	520人	6人	6,831人

(5) 福祉委員への支援

民生委員児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。164行政区178人に委嘱した。（設置率100%）

- ・福祉委員代表者会 開催日 4月27日
内容 会長、副会長の選任及び研修会について等
- ・福祉委員委嘱状交付式及び研修会 開催日 4月27日
内容 委嘱状交付、福祉委員活動及びボランティア活動保険について説明
参加者 155人

(6) 糸島市民生委員児童委員へ支援

民生委員児童委員の活動に関する相談の支援を実施した。また、民生委員児童委員協議会の運営に関して事務局として支援を実施した。

- ・役員会並びに定例会の開催

[役員会] 年 6回 偶数月第1金曜日
 [定例会] 前原地区 年12回 毎月 第3週の水曜日
 二丈地区 年12回 毎月 第3週木曜日
 志摩地区 年12回 毎月 第3週水曜日

- ・各地区研修会の開催

◎前原地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
7月12日	97人	グループワーク	民生委員児童委員同士で少人数のグループを作り、意見交換をした
10月18日	98人	糸島市社会福祉協議会	成年後見制度について
1月18日	99人	グループワーク	民生委員児童委員同士で少人数のグループを作り、意見交換をした

◎二丈地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
6月15日	29人	視察研修	クローバープラザ見学
8月17日	30人	糸島市社会福祉協議会	成年後見制度について
9月21日	30人	糸島市社会福祉協議会	糸島市あんしん生活サポート事業について

◎志摩地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
6月21日	29人	クローバープラザ内	「生涯あんしん住宅」、「福祉用具展示室」見学
9月20日	36人	糸島市社会福祉協議会	成年後見制度について
2月21日	35人	人権擁護委員 相田成子氏	高齢者と人権について

(7) 社協出前講座（糸島市出前講座）への職員派遣

市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座へ職員を派遣した。

	派遣日	派遣先	内容
1	7月4日	糸島市立桜野小学校	No.5 福祉教育
2	7月5日	糸島市立前原南小学校	No.5 福祉教育
3	9月20日	糸島市立前原西中学校	No.5 福祉教育
4	11月2日	糸島市立前原東中学校	No.5 福祉教育

[講座メニュー]

- No.1 地域福祉ってなあに？ No.2 地域の福祉力を高める住民講座
 No.3 ご存知ですか？あなたのまちの民生委員・児童委員 No.4 家庭介護教室
 No.5 福祉教育 No.6 社会貢献教育「寄付の教室」
 No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」
 No.8 地域福祉活動計画 ～糸島の地域福祉力のさらなる向上を目指して～

4. ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア講座の企画運営については、市社協ボランティア連絡協議会との共催で行った。

No.	項目	内容
1	ボランティア活動支援	ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援 ①令和5年度 ボランティアセンター登録者数 2,854人 内訳 1 ボランティアセンター個人登録者 20人 2 社協ボランティア連絡協議会会員 403人 3 その他団体・個人 82団体・個人 2,431人 (※ボランティア活動保険の実績数換算による) ②ボランティア活動に関する対応件数、91件 内訳 ボランティア依頼者数 14件、活動希望者数 16件、情報提供他 61件 ③フードバンク糸島 Happiness 等との連携により経済的理由で生理用品を購入することが難しい人を主な対象として、市健康福祉センターあごらにて生理用品を随時提供
2	ボランティア活動保険の助成	①令和5年度保険全額助成 32団体・個人 656人 (内訳) ボランティア連絡協議会団体 403人 ボランティアセンター個人登録者 20人 福祉委員会 178人、糸島青年会議所 55人
3	ボランティア団体への助成	①ボラ連団体助成(上限3万円) 28団体 810,000円 ・地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成 ②団体強化助成(上限5万円) 4団体 125,024円 ・団体の活動に必要な備品や消耗品を上限5万円まで助成 対象団体： 布絵本の会こびとのくつや、かぶりんパークで遊ぼう、はつらつマイスターズ、二丈野菜配布ぼらんていあ ③事業助成(上限5万円) 2団体 67,500円 ・研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実費を上限5万円まで助成 対象団体： 朗読ボランティアせせらぎ、手をつなぐ糸島市民のつどい実行委員会

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項目	開催日	内容	参加人数
1	ボラ連 役員会	第1回役員会 期日：4月14日(金) 場所：あごら	<ul style="list-style-type: none"> *会長・副会長の選任 *担当決め(社会福祉大会・社協理事・社協評議員) *社協助成金の見直しについて *令和5年度ボラ連代表者会について *ボランティアセンター講座について *視察研修について *会員向け・市民向け講座について *ユニフォーム制作について *いとしま Fun2023 について *糸島市我が事丸ごと研究大会について *サロン訪問ボランティアについて *今後について 	4人
		第2回役員会 期日：7月13日(金) 場所：あごら	<ul style="list-style-type: none"> *糸島市社会福祉大会表彰の推薦について *ユニフォーム制作について *令和5年度ボラ連関連事業について *いとしま Fun2023 について 	4人
		第3回役員会 期日：3月21日 場所：あごら	<ul style="list-style-type: none"> *令和5年度事業について *令和6年度事業計画について 他 	4人
2	ボラ連 代表者会	社協ボラ連代表者会 期日：6月3日(土) 場所：あごら	<ul style="list-style-type: none"> *令和5年度役員紹介 *新規加盟団体紹介 *令和4年度事業報告について *令和5年度事業計画について *遊び×学び×交流フェスイとしま Fun について *糸島市社会福祉大会について *地域福祉活動計画よりボランティア関連項目について *意見交換(情報交換シート) 	24人
3	ボラ連 会員研修	小郡市社協ボラ連視察 期日：12月16日(土) 場所：小郡市総合保健福祉センターあすてらす他	<ul style="list-style-type: none"> *小郡市ボランティア情報センター、小郡市社協ボラ連の紹介 *団体紹介VTRによる所属団体の活動紹介 *活動体験(日本車椅子レクダンス協会、傾聴ボランティア「でんでん虫」、音訳ボランティア小郡テープの会、おもやい広場「くまさん文庫」) *質疑応答 	24人
		ふくおか“きすな”フェスティバル 期日：2月18日(日) 場所：クローバープラザ	<ul style="list-style-type: none"> ●基調講演 「ボランティア活動の『いま』と『これから』」 ●分科会1「地域のカ×住民のカ」 ～ボランティア活動から考える地域福祉～ ●分科会2「社会福祉協議会×義足歴38年の義足レディ」 いくつになってもチャレンジできる！ ～わたしたちが伝えたい、大切なこと～ ●分科会3「学生×『?』」 ～学生の地域貢献・ボランティア活動から考える福岡の“ミライ”～ 	27人

4	いとしまFun 2023	テーマ：「100%笑顔☺ みんなあつまれ」 期日：11月19日（日） 場所：あごら	遊び×学び×交流フェスとして、地域住民やボランティアなど様々な人たちで「地域共生社会」の実現を目指し、糸島市のボランティア・福祉活動を知ってもらうことを目的に開催	1200人
---	-----------------	--	---	-------

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項目	開催日	内容	人数
1	市民向け講座	むかしのことを話す時間 ^{とき} ～心はずむ聞き方講座～ 第1回 12月5日（火） 第2回 2月7日（水） 第3回 3月6日（水）	【第1回】 ・「糸島での話し言葉 聞き方講座（入門編）」 ・むかしのことを話す時間（対面での体験） 【第2回】 ・発表「聞き手・聞き役としての活動・工夫・魅力」 ・むかしのことを話す時間（グループ体験） 【第3回】 ・「糸島での話し言葉 聞き方教室（実践編）」	95人
2	福祉教育	ふくし体験スクール 期日：7月27日（木）～7月28日（金）	小学5、6年生を対象に福祉の心を育むために開催。 〈内容〉 ・手話学習会、介助犬についての学習、 ・福岡視力障害センター訪問（施設見学、暗闇体験、ゴールボール体験）	33人
		① 7月5日（水） 前原南小学校（132人） ② 7月4日（火） 桜野小学校（18人） ③ 9月20日（水） 前原西中学校（35人） ④ 11月2日（木） 前原東中学校（232人）	①車いすユーザーの講話、アイマスク ・車いす体験 ②車いすユーザーの講話、車いす体験 ③糸島市の貧困世帯の状況、フードバンクや子ども食堂などの活動紹介 ④ 社協の仕事紹介	417人

5. 高齢者福祉事業

（1）家族会（在宅介護者の会）活動支援

在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語ることにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会や意見交換会、バスハイクを実施。

- ・3地区合同学習会 7月13日
内容：権利擁護事業について
- ・3地区合同学習会 12月14日
場所：伊万里温泉「白寿の湯」
- ・「癒しの会」（前原地区） 活動日／2ヵ月に1回 場所／あごら
- ・「楽笑」（二丈地区） 活動日／3ヵ月に1回 場所／二丈苑
- ・「あすなろの会」（志摩地区） 活動日／毎月第3木曜日に開催 場所／ふれあい

(2) 糸島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

グラウンドゴルフ・パタンク大会の開催支援

開催日 10月19日

場所 糸島市運動公園

団体運営に関する活動助成

6. 障がい児(者)福祉事業

(1) VR 自閉症体験会

VR ゴーグルを装着し体験することを通して、当事者の立場への理解を進め、市内の障がい児者理解のため開催。

(2) 糸島市社協ボランティア連絡協議会と手をつなぐ親の会との意見交換会

団体の会員が対話をとおして、相互の活動の理解を深めるため開催

(3) 共同作業所への活動助成(歳末たすけあい募金)

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらいへの活動助成

(4) 身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(5) 糸島市臨床動作法研究会親の会(レインボーサークル)への活動助成

団体運営に関する活動助成

(6) 糸島市精神障がい者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(7) 手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(8) 糸島市聴覚障害者協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

(1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

配布対象 市内16小学校の小学3年生へ 1,200冊配布

(2) 児童公園への遊具設置事業(遊具保険のみ)

撤去修繕の実績はなし

(3) ひとり親家庭交流事業の開催

ひとり親家庭を対象に親子のふれあいや思い出作り、児童の健全育成のため、親子バスハイクを交流事業として実施

開催日 8月6日(日)

場所 下関市立しものせき水族館(山口県下関市あるかぼーと6-1)

参加者 33世帯(子ども53人 保護者34人)、母子会7人、社協職員8人
計102人

(4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(5) 子ども支援団体の活動支援

・子ども支援団体連絡会議

食や居場所で子ども支援を行う団体の情報共有のための会議を実施。また、会議に参加する団体に対し、NPOや企業、個人からの食品の寄付について連絡調整を行う。

子ども支援団体連絡会議

第1回開催日 7月12日

第2回開催日 2月21日

8. 総合的な福祉事業

(1) 広報紙市社協だより「みんなのふくし」の発行(全戸配布)

年間4回の発行、74号から77号の発行(4月、7月、10月、2月)

(2) 共同募金運動の推進(目標額1,530万円)

福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定され、達成率は97.0%で昨年度の実績を下回った。(参考:昨年度達成率98.2%)

赤い羽根共同募金総実績額 14,845,167円

【内訳】

(参考:令和4年度15,223,538円)

区分内容	金額
戸別募金(行政区ごとに協力依頼)	11,882,182円
職域募金(バッジ・タイピン募金)	569,026円
大口募金(市内の法人企業・個人店に協力依頼)	1,123,048円
その他(自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など)	1,270,911円

(3) 糸島市社会福祉大会

第11回目を迎える本大会は、福祉活動を推進する様々な団体や地域住民が一堂に会し、社会福祉の充実発展に功労のあった団体の表彰や講演を行い、社会福祉進展のための啓発を行った。

大会テーマ 「コロナ禍を経てみえた大切な地域のつながり」

開催日 10月28日

場所 伊都文化会館 多目的ルーム

参加者 160人

内容 表彰及び優秀賞受賞団体の活動発表、講演

受賞者 優秀賞：「認定NPO法人 九州補助犬協会」「福井神楽保存会」

功労賞：「南風校区社会福祉協議会」「在宅介護者の会 あすなる会」

「長糸女性の会（ほたるの会）」「たけのこ文庫」

「志摩きずなグループ」「ボランティアはるか」

「六十爺の会（ムソジノカイ）」「怡土けん玉倶楽部」

「糸島ひよっとこ踊りの会」「富ささえあい通いの場」

「三福会(高田西シニアクラブ)」「高田東シニアクラブ」

「油比シニアクラブ」

講演 「コロナが気づかせた、地域のきずなの大切さ

～誰も置き去りにしない地域づくりを目指して」

講師 臨床ソーシャルワーク研究所 衣笠一茂氏

9. 相談支援（援護活動）事業

(1) 法律・心配ごと相談

◆法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ45回実施/相談件数238件

相談員（延べ）弁護士45人、民生児童委員42人（各校区民児協から選出）

相談内容（238件）（参考：令和4年度192件） 単位：件

生計	4	年金	0	職業・生業	1	住宅	26	家族	8	結婚	3
離婚	27	健康衛生	0	医療	1	精神衛生	0	金銭・法律	59	財産	56
事故	4	児童・母子	0	教育青少年	0	心身障害者	0	母子・父子	1	老人福祉	0
苦情	4	その他	44								

処理内容（238件） 単位：件

解決	161	再来相談	30	他機関を紹介	19	その他	28
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

(2) 生活福祉資金等相談件数（生活福祉資金及び福祉金庫）

生活困窮者自立支援制度の施行に伴って、貸付制度においても、より効果的に低所得世帯等の自立支援を図るために、生活困窮者自立支援制度と連携した貸付を行うこととされています。

- ・相談件数の推移（初回相談の件数）
 - 令和3年度 146件
 - 令和4年度 190件
 - 令和5年度 234件 ※教育支援資金の相談件数が増加

- ・生活福祉資金の貸付状況

総合支援資金	生活支援費	1件	600千円
福祉資金	福祉費	4件	1,456千円
緊急小口資金		15件	1,190千円
教育支援資金	教育支援費	36件	32,289千円
	就学支度費	37件	13,083千円
	計	93件	48,618千円
	(令和4年度)	99件	39,632千円

- ・特例貸付借受人への相談業務

生活福祉資金特例貸付の借受人への相談支援業務の実施。償還免除申請や償還猶予申請等の相談支援を実施した。

また、フードバンク Happiness と連携して食費の捻出に困っている相談者へ食料の提供を実施した。

相談件数：157件（内、フードバンク利用者27人、延べ56回）
63件（令和4年度実績）

- ・福祉金庫の貸付件数

生活困窮者自立支援機関である総合相談窓口と連携し、経済的自立の助成と生活意欲の向上を図ることを目的とし緊急を要する貸付を実施した。

60件 1,151千円（令和4年度 70件 1,187千円）

10. 受託事業

(1) 日常生活自立支援（権利擁護）事業（福岡県社協委託事業）

認知症や知的障がいの方などで判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス援助や日常的な金銭管理を実施した。利用者は生活困窮世帯などの困難事例も多く、地域包括支援センターや市役所地域福祉課、福祉保護課と連携した対応に努めた。

- ① 福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス
 - 利用件数32件 内訳／高齢者19件・障がい者13件（知的・精神）
（継続27件・新規9件・廃止4件）
- ② 書類等預かりサービス事業（貸金庫で保管）
 - 利用件数14件 内訳／高齢者6件・障がい者8件（知的・精神）
- ③ 安心あずかりサービス事業（独自事業）
 - 利用件数 4件 内訳／高齢者2件・障がい者2件（知的・精神）
（継続4件・新規5件・廃止5件）

(2) 市健康福祉センター「あごら」「ふれあい」、市高齢者福祉施設「二丈苑」の管理・運営（指定管理者）

・系島市健康福祉センター「あごら」利用者数 延べ66,976人（令和4年度68,308人）

単位：人

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	474	386	578	589	305	688	617	1,065	538	910	1,047	408	7,605
トレーニング団体	364	285	304	269	299	335	326	327	263	255	289	350	3,666
トレーニング個人	883	981	1,108	973	944	1,009	905	833	713	837	818	862	10,866
調理実習室	239	105	190	155	125	66	104	76	458	159	186	163	2,026
栄養指導室	175	257	253	239	182	196	109	257	129	309	260	359	2,725
研修室1	251	177	256	241	308	171	199	173	157	255	214	361	2,763
研修室2	321	200	324	204	349	265	191	282	223	307	289	348	3,303
教養娯楽室1	217	133	173	192	166	145	119	64	138	147	169	225	1,888
教養娯楽室2	122	69	108	140	136	70	108	25	74	176	130	192	1,350
ふれあい交流室1	579	284	240	145	189	300	185	260	275	489	223	728	3,897
ふれあい交流室2	484	249	159	101	205	175	103	235	188	464	249	592	3,204
ゲートボール場1	0	0	0	8	0	25	50	50	0	0	0	2	135
ゲートボール場2	0	0	0	8	0	25	50	50	0	0	0	2	135
軽グラウンド	1,486	1,454	1,131	964	948	1,361	1,396	1,395	1,087	1,162	1,238	1,448	15,070
陶芸室	302	323	320	251	279	229	230	268	319	192	226	269	3,208
図書室	242	285	491	254	420	559	685	780	375	422	436	186	5,135
計	6,139	5,188	5,635	4,733	4,855	5,619	5,377	6,140	4,937	6,084	5,774	6,495	66,976

・系島市健康福祉センター「ふれあい」利用者数 延べ30,294人（令和4年度27,183人）

単位：人

月 会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室	298	459	421	866	423	419	436	507	618	802	733	782	6,764
ふれあい交流室	541	358	278	381	262	178	166	324	528	239	221	493	3,969
趣味の部屋	397	318	308	444	364	365	297	321	315	278	412	352	4,171
和室1、2	105	140	95	149	87	87	85	86	75	79	62	96	1,146
和室3	75	71	84	76	39	44	65	80	52	61	54	80	781
陶芸室	54	55	52	54	34	53	49	64	60	50	53	54	632
一般浴室	826	769	767	593	582	693	901	1,009	1,088	48	0	818	8,094
テニスコート	514	428	531	294	176	196	303	221	182	172	213	219	3,449
ヘルストロン	62	93	123	98	76	111	122	73	115	97	150	168	1,288
計	2,872	2,691	2,659	2,955	2,043	2,146	2,424	2,685	3,033	1,826	1,898	3,062	30,294

・系島市高齢者福祉施設「二丈苑」利用者数 延べ4,149人（令和4年度2,976人）

単位：人

月 会場名	98	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大研修室	315	232	245	259	175	379	317	273	336	223	228	301	3,283
小研修室(和室)	95	82	66	69	40	93	60	40	69	56	51	65	786
調理実習室	12	34	0	0	0	10	0	0	24	0	0	0	80
計	422	348	311	328	215	482	377	313	429	279	279	366	4,149

(3) 基幹型地域包括支援センター事業

基幹型センターとして各地域包括支援センターにおける業務・連絡調整を行うとともに事業運営に必要な情報等の共有を図り、センターの機能強化に取り組んだ。また、ヒアリングを通じて各センターの取組状況の確認や課題抽出について検討を行った。併せて職員に対し、ケアマネジメントの質の向上と処遇困難ケース対応の研修会の開催や処遇困難事例等への助言、同行訪問等の支援を通じ各センターの資質向上を図った。

【相談件数】

来所	電話	訪問	その他	合計
61人	1,494人	397人	57人	2,009人

【相談者内訳】

包括支援センター	本人	家族（同居）	家族（別居）	親戚・近隣・知人	民生委員
923人	218人	61人	51人	35人	3人
見守り協力員	行政関係者	介護支援専門員	一般事業所職員	介護サービス事業所	社会福祉サービス事業所
0人	356人	100人	13人	44人	47人
医療等従事関係者	関係者権利擁護関係者	その他	合計		
140人	15人	3人	2,009人		

【相談内容】

一般相談		虐待以外の処遇困難	
介護認定	8件	権利侵害(第三者による)	1件
介護保険サービス	21件	DV・暴力	23件
ケアマネジメント支援	7件	経済的問題	144件
総合事業サービス	6件	認知症	382件
介護相談（介護方法等）	4件	精神・知的（依存含む）	151件
障がいサービス	4件	ターミナル	24件
福祉用具	0件	近隣トラブル、苦情	37件
住宅改修	1件	介入・サービス拒否	134件
施設入退所	10件	その他	215件
医療機関入退院	25件	その他	
救急・搬送・移送	3件	ケアマネ支援	21件
在宅医療	1件	見守り支援	311件
認知症（処遇困難以外）	16件	連絡・引継ぎ	147件
介護離職防止	5件	その他	42件
権利擁護		合計	2,349件
虐待関係	473件		
成年後見	133件		
消費者被害	0件		

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
43件	33件	29件	0件	3件	108件

【地域ケア会議】

自立支援型	地域課題	事例検討(処遇困難)	介護予防ケア計画 外研修	合計
36件	34件	8件	6件	84件

【ケース会議】

虐待関係	処遇困難(虐待外)	合計
26件	10件	36件

【外部会議等】

行政主催	地域関係者主催	業務関係者主催	多職種連携	市民啓発（出前講座）
111件	18件	90件	37件	5件
視察対応	研修会開催・運営	研修会参加	ケアラフチェック	合計
1件	11件	23件	10件	306件

【地域包括支援センター事務局連絡会議等】

開催回数 11回 ※12月中止 事前会議 12回

センター長会議 2回

部会会議の運営 ・保健師、看護師部会 14回 ・社会福祉士部会 17回

・主任介護支援専門員部会 10回

【介護予防ケアマネジメント研修（全体研修）の開催】

第1回研修	開催日：8月21日
	テーマ：自立支援型ケアマネジメントについて現状を振り返ろう 講師：福岡県介護支援専門員協会副会長 江上 文幸 氏
	参加人数：33人（基幹型包括・市職員含む）
第2回研修	開催日：12月14日
	テーマ：高齢者虐待の視点を学ぶ～セルフネグレクトの考え方と支援について～ 講師：石橋 雅子 氏（法テラス福岡副所長/福岡県社会福祉士会）
	参加人数：39人（基幹型包括・市職員含む）
第3回研修	開催日：2月22日
	テーマ：糸島市第9期介護保険事業計画に向けた取組みについて 講師：糸島市介護・高齢者支援課・地域福祉課/糸島市社会福祉協議会
	参加人数：27人（基幹型包括・市職員含む）

【認知症初期集中支援チーム会議】

協議件数 86件（延件数）

【市民への啓発活動】

・南風校区社会福祉協議会研修会 ・家庭介護者向け研修会

【糸島地区介護保険事業者連絡会の運営支援】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会（12回）や定例会（6回）の支援を行った。

(4) 障がい者相談支援事業

障がい者相談支援センターでは、障がい者の当事者や家族からの相談を受け付け課題解決に向けた支援を行った。また、他の各相談窓口（志摩学園、木の実、木の実二丈センター）との連携にも取り組んだ。自立支援協議会では精神専門部会の事務局を担い、「にも包括」の構築についての協議検討を行った。計画相談業務では、障がい支援区分認定調査事業とともに利用者の支援を行った。

【年齢層】（月毎実数合計）

10歳未満	561件	40代	218件	80代	22件
10代	282件	50代	182件	90代以上	3件
20代	160件	60代	196件	不明	18件
30代	101件	70代	44件	合計	1,787件

【障がい種別】（月毎実数合計）

身体障害	353件	精神障害	267件	難病	44件
重症心身障害	92件	発達障害	512件	その他	30件
知的障害	477件	高次脳機能障害	12件	合計	1,787件

【地域割】（月毎実数合計）

前原	二丈	志摩	その他	不明	合計
1,444件	130件	162件	32件	19件	1,787件

【障がい者・児別】（月毎実数合計）

障がい者	障がい児	不明	合計
989件	797件	1件	1,787件

【相談方法】（延べ件数）

訪問	902件	来所	171件	同行・引率	18件	
電話・メール	1,742件	関係機関	1,593件	その他	6件	
					合計	4,432件

【支援内容】（延べ件数）

①福祉サービスの利用等に関する支援	831件	⑦家計・経済に関する支援	86件	
②障害や病気の理解に関する支援	21件	⑧生活技術に関する支援	720件	
③健康・医療に関する支援	233件	⑨就労に関する支援	558件	
④不安の解消・情緒安定に関する支援	207件	⑩社会参加・余暇活動に関する支援	249件	
⑤保育・教育に関する支援	1,330件	⑪権利擁護に関する支援	15件	
⑥家族関係・人間関係に関する支援	72件	⑫その他	110件	
			合計	4,432件

(5) 移送サービス事業

公共交通機関等の利用が困難な在宅の寝たきり高齢者等を移送用車輦で医療機関等へ移送するサービス。(登録車輦 4 台) 単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録	高齢者	90	93	93	94	94	93	93	93	79	80	82	82	89/月
	障害者	46	45	45	45	45	45	46	46	46	46	46	46	46/月
	計	136	138	138	139	139	138	139	139	125	126	128	128	135/月
利用	高齢者	26	22	29	22	24	28	21	24	22	16	14	18	266
	障害者	8	11	10	7	12	10	10	12	9	8	11	12	120
	計	34	33	39	29	36	38	31	36	31	24	25	30	386

(参考：令和 4 年度 368 人)

(6) 配食サービス事業

調理が困難な 65 歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。3 コースで対応(志摩地区は志摩園が受託) 単位：人、食、四捨五入

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実利用者数	昼	29	30	33	40	42	43	49	52	52	47	48	49	43人/月
	夕	45	45	49	51	55	54	59	62	60	63	68	72	57人/月
	合計	74	75	82	91	97	97	108	114	112	110	116	121	100人/月
配食数	昼	567	596	617	653	723	791	852	922	939	869	804	977	9,310
	夕	944	982	1,044	1,077	1,134	1,229	1,316	1,336	1,334	1,367	1,385	1,561	14,709
	合計	1,511	1,578	1,661	1,730	1,857	2,020	2,168	2,258	2,273	2,236	2,189	2,538	24,019

(参考：令和 4 年度 21,917 食)

(7) 母子家庭等日常生活支援事業

派遣件数 2 件 内訳 母子家庭 2 世帯 18 回 18 時間

(参考：令和 4 年度：14 回、14 時間)

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

総数 117 (前原地区 61、二丈地区 19、志摩地区 37) 新規 4 カ所

前原地区一覧

No.	サロン名	行政区
前原東圏域		
波多江校区		
1	寿サロン	高田東
2	いきいきサロン茶話野香	池田北
3	いきいきサロンはたえ	波多江
4	高田西わいわいサロン	高田西
5	池田南行政区よってきんしゃい	池田南
6	板持行政区愛・愛サロン	板持
浦志校区		
7	いきいきサロン浦志	浦志東
8	志登の会	志登
9	潤南サロン	潤南
10	潤おしゃべりカフェ	潤北
怡土校区		
11	西堂笑話会	西堂
12	曾根 より愛サロン	曾根
13	川原親和会	川原
14	王丸これからクラブ	王丸
15	サロン住吉会	井原
16	お達者クラブ	高来寺
17	大門いきいきサロン	大門
18	未永サロン加多朗カイ	未永
19	三雲いきいきサロン	三雲
20	ふれあいサロンたかす	高祖
21	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺
22	井原なごみの会	井原
23	サロン十五日会	大門
24	井田にこここサロン	井田
前原西圏域		
前原校区		
25	さわさわ会	浦志南
26	いきいきサロン東町	東町
27	サロンニシマチ	西町
28	ほがらかサロン	北新地
29	北本町いきいき夢サロンー九会	北本町
30	筒井町いきいきサロン	筒井町
31	サロン南本町	南本町
32	新田サロン木曜会	新田
33	浦志西いきいきサロン	浦志西
34	上町中央サロン	上町中央
35	サロン上新町	上新町

No.	サロン名	行政区
前原西圏域		
南風校区		
37	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東
38	よりあいサロンたく	多久
39	ほっとカフェ	美咲が丘西
40	よりあい処南風台	南風台1～8
加布里校区		
41	笑楽会	荻浦
42	かみありさん元気かい	神在3
43	木曜会	神在4
44	ひだまりサロン「浜の園」	神在5
45	神在二生きいきサロン	神在2
前原南校区		
46	上町ゆうゆうサロン	上町
47	篠原1区ほほえみサロン	篠原1
48	ひまわりサロン	老松町
49	いきいきサロンひまわりの会	中央
50	サロン笹山	笹山
51	篠原三区さんさんサロン	篠原3
52	サロン・クローバー	篠原2
長糸校区		
53	長野 友愛の会	長野
54	川付ほっとサロン	川付
55	瀬戸サロン	瀬戸
雷山校区		
56	ポカポカ広場	香力
57	有田ふれあいいいきいきサロン	有田
58	づくぼうサロン	高上
59	福蔵サロン	蔵持
60	富いきいきサロン	富
61	よかところサロン	有田中央

二丈地区一覧

No.	団体名	行政区
一貴山校区		
1	いきいき武サロン	武
2	松園いきいきサロン	松園
3	いきいきサロン長石	長石
4	ハローサロン	波呂
5	いきいきサロン一貴山	一貴山
深江校区		
6	やよい野ふれあいサロン	やよい野
7	東町ふれあい生きいきサロン	東町
8	白浜元気会	白浜町
9	いきいきサロン下松末	下松末
10	生きいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山
11	片山サロン	片山
12	南町元気クラブ	南町
13	松末サロン	松末
福吉校区		
14	吉井下いきいきサロン	吉井下
15	ふれあい竹戸サロン	吉井上
16	福井わくわくサロン	福井
17	リフレッシュ! 加茂川	佐波
18	バンビハウス	鹿家
19	大入かたりば	大入

志摩地区一覧

No.	サロン名	行政区
可也校区		
1	初ふれあい生きいきサロン	初
2	花の会	師吉団地
3	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘
4	津和崎シニアサロン	津和崎
5	仲良し会	師吉
6	ひかりが丘ふれあいサロン	ひかりが丘
7	そよかぜ	師吉団地
8	稲葉ふれあいサロン	稲葉
9	いきいきほほえみ会	小金丸西
10	楽しい仲間作り	師吉
11	師吉区 自由な居場所「もやいの会」	師吉
12	火山シニアサロン	稲留
13	大塚いきいきサロン	大塚
14	なごやか会	小金丸西
15	白うさぎの会	稲葉
16	大石いきいきサロン	大石
17	親山ふれあいサロン	親山
18	新聞いきいきサロン	新聞
桜野校区		
19	笑老会	桜井東
20	さわやか会	桜井東
21	なごみ会	桜井東
22	川上福祉会	川上
23	大町サロン	大町
24	いきましよう会	野北浜
25	間少路クラブ	間少路
26	本村いきいきサロン	本村
27	はつらつ会	川上
引津校区		
28	岐志浜いきいきサロン	岐志浜
29	岐志岡いきいきサロン	岐志岡
30	野辺・福ノ浦サロン	野辺・福ノ浦
31	東貝塚サロン	東貝塚
32	新町いきいきサロン	新町
33	元気会	芥屋
34	みんなの広場	西貝塚
35	松原ふれあいサロン	松原
36	いきいきサロン船越	船越
37	寺山いきいきサロン	寺山

・サロン代表者会（研修含む）

- (ア)代表者研修会 8月23日(志摩)、24日(二丈)、29日(前原) 99人参加
- (イ)サロン代表者会 2月27日(志摩)、28日(前原)、29日(二丈) 128人参加
- (ウ)事務相談会 3月19日(二丈)、21日(前原)、22日(志摩) 1団体参加

・サロンボランティア団体の代表者会及び会員研修会

第1回 9月8日(会場)あごら

講師 白十字リハビリテーション病院リハビリテーション部 平井 裕介

参加者 研修 32人、代表者会 6人

第2回 3月15日(会場)あごら

講師 株式会社K.T.Mリーフケアプランニング 谷川 義和氏

参加者 研修 38人、代表者会 6人

・サロンボランティア派遣実績

令和5年度 ボランティア団体数・・・10団体

サロン訪問ボランティアの高齢化や会員減少などによる脱退が相次いだため、新たな団体の登録に関する取り決めを整理。糸島市社協ボランティア連絡協議会のほか、すでにサロンで活動している団体に案内し新規団体の登録に努め、今年度より「朗読ボランティアあめんぼ」、「六十爺の会」が新規登録となった。

・「サロン訪問ボランティア団体説明会&個別相談」の実施

活動団体より、高齢化による会員の減少、新たな会員獲得が難しいとの声が寄せられ、前年度に引き続き、全団体の活動について紹介する説明会を開催。

その結果、各団体で新規会員の加入につながったと報告があり、今までの会員層とは異なる年代や性別の会員の増加を受け活動がより活性化するとの意見もあった。

日時 2月3日 10:00~12:00

内容 各サロン訪問ボランティア団体による活動紹介、参加者からの個別相談

参加者 40人(ほか、ボランティア21人)

・特別講演会

日時 令和6年3月7日 10:00~12:00

テーマ 「腰痛予防～腰の痛みは腰のみにあらず～」

内容 医師の講話、健康運動指導士による実技指導、ふれあい生きいきサロンの紹介

講師 福岡県福岡地区介護予防支援センター

医師 野村 耕平氏、健康運動指導士 伊藤 文隆氏

寺山いきいきサロン 持田 京子氏、富いきいきサロン 岡崎 雅彦氏

参加者 81人

・薬剤師会の派遣実績

令和5年度の派遣実績 4回(4人)

(9) 特別支援学校高等部送迎バス運行事業（福岡県委託事業）

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

- ・生の松原特別支援学校高等部登録者数 13 人

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	176	228	220	151	44	219	189	214	176	181	150	93	2,041
下校	171	216	201	141	44	205	169	211	164	166	135	80	1,903
計	347	444	421	292	88	424	358	425	340	347	285	173	3,944

(参考：令和4年度 登録 16 人 延べ 5,418 人)

(10) 手話奉仕員養成研修事業

開催期間 4月12日～10月11日

内容 基礎講座（26回）

※コロナ禍により入門講座を令和4年度、基礎講座を令和5年度に開催

(11) 障がい支援区分認定調査事業（障害者地域生活支援事業）

調査件数 46件（内訳：新規17件 更新29件）

障がい種別 ・身体17件 ・精神5件 ・療育15件 ・身体,療育3件
 ・身体,精神3件 ・難病1件 ・なし2件

(参考：令和4年度52件)

(12) 移動支援（集団型）（障害者地域生活支援事業）

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	15	20	22	14	4	19	21	21	16	17	18	13	200
延べ派遣者数	60	82	88	56	16	76	84	78	64	68	82	52	806

(参考：令和4年度 延べ812人)

(13) 生活支援体制整備事業

- ・生活支援体制整備推進協議会の設置、運営

生活支援体制整備事業や地域ささえあい会議の進捗状況の報告、地域課題の共有、移動支援の課題に対する取組の協議などを行った。

第1回開催日 5月24日 参加者 18人

第2回開催日 9月28日 参加者 18人

第3回開催日 2月1日 参加者 18人

- ・市との連絡会議（定例会）
推進協議会に向けての協議や生活支援体制整備事業の運営に関する協議の場
年4回開催
- ・県SCアドバイザー派遣を申請。市内のSCだけでは解決が難しい地域課題について、
アドバイザー（福岡市社協：藤田氏）から指導・助言を受け、整理した。
4回開催。
- ・第2層生活支援コーディネーター（第2層SC）の支援
毎月SC連絡会議を開催し、情報共有や業務に対する相談などを受けながら支援にあたった。
SC会議の回数 12回
- ・住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催
一貴山コミュニティセンターと前原南コミュニティセンターにて「地域ささえあい
サポーター養成講座」（3日間）を開催。講座修了者の中で、申し込みをされた人
にサポーター登録をしてもらった。
なお、地区別サポーター交流会を地域ささえあいサポーターステップアップ講座
にあわせて開催した。
地域ささえあいサポーター養成講座 受講者 56人
地域ささえあいサポーター登録者 31人が登録
地域ささえあいサポーターステップアップ講座 受講者 102人
- ・社会資源調査、ヒアリング等
第2層SCと連携して「高齢者にやさしい生活サポート情報誌」の掲載済み団体
と新規掲載団体を含め、情報の収集・調査を経て更新した。
- ・地域ささえあい会議（第2層協議体）の設置推進
全ての校区で2回以上の開催ができた。会議を通して地域課題の共有や情報交換
ができ、課題解決の取り組みが企画された。第2層SCの情報提供により、地域さ
さえあい通いの場の2か所新設にもつながった。

（14）糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問B）

- ・地域ささえあい推進員連絡会議
糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として、小学校区に地域ささえあい推進
員を配置し連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細
協議や新メニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議などを行った。
地域ささえあい推進員連絡会議 年12回開催
- ・利用者実績
様々な機会での事業の周知や包括支援センターへの事業の周知も進み利用者が増加
している。サポート内容としては、ごみ出し支援が全体の83.2%あり、その他は買

い物支援と草取りであった。

利用者：60人（令和4年度48人）

サービス内容：ゴミ出し1,141件、買い物他231件 計1,372件
（令和4年度1,060件）

・校區別サポーター交流会

校区担当の地域ささえあい推進員が校區別交流会を企画・運営。活動が住民主体であることの意義づけや、推進員のリーダーシップ、サポーター相互の連帯感を高めることができている。交流会には地域包括支援センター職員や民生委員児童委員が参加することもあり、高齢者に対する事業等について情報共有ができるとともに、高齢者にやさしい生活サポート情報誌の新たな掲載候補の情報発掘にもつながっている。

13校区：12回開催 延べ160人参加（前原南・長糸校区未実施）

※二丈地区（一貴山校区、深江校区、福吉校区）と、志摩地区（可也校区、桜野校区、引津校区）はそれぞれ3校区で合同開催。

（15）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題を抱えているために、必要な支援が届いていない人に支援を届けるもので、具体的には各種会議や支援関係機関との連携を通じて、地域の状況等にかかる情報を幅広く収集するとともに、地域住民とのつながりを構築する中で、課題を抱える相談者を見つけ、本人への継続的な関わりを持ち相談支援にあたった。

・福祉まるごと相談

福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行った。

月1回、相談内容や支援状況について確認をする会議を開催し、継続支援を実施するかの協議を行った。

相談者数 659件（新規125件、継続534件）

相談形態 面談293件、電話399件、メール34件、訪問41件

・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

多機関協働により、課題解決に向けた相談支援を実施する。相談者と継続的な関わりを持つために、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行った。

相談者数 627件（新規93件、継続534件）

支援回数 訪問68件、面接261件、電話468件、メール361件、手紙100件、物資支援56件、同行支援30件、その他7件

・プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 0件

多機関協働事業、参加支援事業とともに作成したプランはなし。

支援会議への参加 5回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行った。

- ・潜在的な相談者の把握

- 認知症カフェ「長糸みらいカフェ」での出張相談会の実施

- 出張相談開催数 12回

- 相談者数 7件（新規5件、継続2件）

- 二丈地区フードパントリーでの出張相談及びアンケート記入者へのアプローチ

- フードパントリー協力数 11回

- フードパントリー延べ来場者数 581世帯 822人

- 相談者数 35件（新規13件、継続22件）

- つなぐシートを活用した相談者の把握（子ども支援団体との連携）

- 相談者数 10件（新規2件、継続8件）

- 校区社会福祉協議会の高齢者等の見守り事業の推進

- 高齢者の集い事業 開催数 26回（12校区）、参加者数 1,454人

- 見守り訪問 事業回数 67回（15校区）、訪問件数 16,802件

- 高齢者以外の見守り事業回数 102回（4校区）、対象者数 203人

- 高齢者以外の交流等の事業回数 123回（12校区）、参加者数 3,308人

（16）参加支援（人や場所とのつながり支援）事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない方や人や場所とつながりにくい方のために、本人及びその世帯のニーズや抱える課題などを丁寧に把握し、地域の社会資源と支援メニューとのコーディネートを実施しマッチングを行った。

また、既存の社会資源への働きかけ等により社会資源の充実を図り、支援ニーズに合った支援メニューを創出する。また、マッチング後において、希望に沿った支援が出来ているかフォローアップを実施し、社会との関係性の構築に向けた支援を行う。

- ・福祉まるごと相談（アウトリート等を通じた継続的支援事業）

- 福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行った。

- 月1回、相談内容や支援状況について確認を行う会議を開催し、継続支援について協議を行った。

- 相談者数 659件（新規125件、継続534件）

- 相談形態 面談 293件、電話 399件、メール 34件、訪問 41件

- ・参加支援（人や場所とのつながり支援）事業

- 既存の事業や社会との関係を保つことができない方やその家族に丁寧に相談支援を行い、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行う。相談者に寄り添いながら社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。

- 相談者数 380件（新規23件、継続357件）

- 支援回数 訪問 38件、面接 196件、電話 171件、メール 288件、手紙 77件
物資支援 36件、同行支援 28件、その他 5件

つなげようとした場の数 228 件

• プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 0 件

多機関協働事業、参加支援事業とともに作成したプランはなし。

支援会議への参加 5 回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行った。

• 人や場所とのつながり支援の実施

ひきこもり・不登校の理解を深める講演会の開催

開催日 9月9日

場所 あごら

講師 山根 俊恵 氏（山口大学大学院医学系研究所教授）

参加者 48 人

ひきこもりに関する家族の悩みを分かちあう場所「笑顔の集い」の開催

開催数 6 回（奇数月に開催）

延べ参加者数 69 人

人や社会とのつながりのための居場所づくり

日ごろ家に閉じこもりがちの方、課題・悩み事がある方等の社会参加の場として、「ゆるゆるカフェ」「ゆるゆるプランター農園」を開催。

ゆるゆるカフェ開催数 11 回

ゆるゆるカフェ参加者数 133 人

ゆるゆるプランター農園参加実人数 4 人

中間的就労の実施

社会参加の場として、中間的就労を実施する法人と連携し、就職活動等の支援を行う。

受け入れ人数（社協介護サービス） 1 人

(17) 共助の基盤づくり事業（支え合いの地域づくり支援事業）

身近な地域において誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人と地域とのつながりを適切に確保する。

• 地域の福祉ニーズを把握するために必要となる事業

校区社協が主体的に会議を実施できるように、生活支援体制整備事業の第2層生活支援コーディネータ（第2層 SC）と協力して運営支援を行った。会議開催にあたっては、校区社協の世話役や第2層 SC と市社協 SCW とで事前協議を行い、介護

の方向性について確認してスムーズな会議になるように進めた。

地域ささえあい会議の回数 35回（15校区）

地域ささえあい会議事前協議 30回（15校区）

・地域住民の活動支援・情報発信等

校区社協の福祉活動に対する支援や情報発信の実施。会長、事務局長会議を開催して情報提供を実施するとともに活動状況を把握した。

校区社協関係の会議の開催 5回

校区社協の活動支援 63回

小地域ネットワーク福祉会の活動に関する相談支援の実施や情報交換の場となる連絡会の開催。

小地域ネットワーク福祉会連絡会 1回

小地域ネットワーク福祉会の活動支援 3回

子ども支援団体連絡会を開催し、情報提供や各団体の情報共有を図り、活動支援を実施した。

子ども支援関係会議等 2回

地域課題の解決等に向けた新たな対応の創出に取り組んだ。

地域住民や団体等の支援等 223回

ボランティア活動に関する活動支援や情報提供。

ボランティア活動の支援等 314回

・地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域での新たな居場所づくりのための相談支援や現在活動されている居場所へのつなぎ、既存の居場所の相談支援の実施。

居場所づくりのための支援 78回

既存の居場所への働きかけ 59回

その他の支援 1回

・行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

我が事・丸ごと研究大会を開催し、地域共生社会の実現に向け住民意識の向上に努めた。

我が事・丸ごと研究大会の開催 1回

我が事・丸ごと研究大会の調整 17回

その他の支援 20回

(18) 生活困窮者自立支援相談事業

重層的支援体制整備事業と一体的に取り組み、個別ケースを中心に関係機関と連携し、「支援内容、方向性、役割分担」について協議を重ねた。また、その根幹となる理念を共通の認識として、支援の質の向上を目指した。

新規相談件数は、昨年度とほぼ横ばいではあるが、相談内容は複雑で課題は複合化しており、各支援機関と協力し、長いスパンでの支援が必要である。

(プラン作成件数 78 件、家計プラン 50 件)

・相談支援実績

単位：件

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数(総数)		38	24	23	20	27	21	18	32	21	40	33	24	321
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		155	149	134	92	132	142	98	112	125	154	124	138	1,555
終了者数(前年度からの継続者を含む)		17	30	15	18	8	20	12	20	9	9	16	38	212
生活困窮を経て、生活保護となった者		2	3	3	1	1	0	2	1	1	0	1	0	15
プラン作成件数(総数)		4	9	11	15	4	2	11	3	3	8	3	5	78
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標としている)		3	4	4	12	2	2	8	3	2	4	1	3	48
法に 基 づく 事 業 等	住居確保給付金	0	2	2	4	1	1	1	0	0	0	0	2	13
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	2	5	9	8	2	1	7	1	2	7	3	3	50
	就労準備支援事業	1	1	2	2	1	0	1	0	0	1	0	1	10
	就労訓練事業	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	自立相談支援事業による就労支援	4	7	4	12	2	2	7	3	2	3	1	1	48
その他	生活福祉資金等による貸付	0	2	3	1	0	0	0	0	1	0	1	3	11
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	2	1	2	0	1	2	2	1	1	1	0	13

・会議・自主研修会実績

	支援調整会議	定例支援会議	課内研修	自主研修等(テーマ)
4月	13日	3日	21日	10日 伝達研修(個人情報保護) 26日 伝達研修(帳票管理等)
5月	11日	1日	19日	
6月	8日	5日	16日	
7月	6日	3日	14日	
8月	10日	7日	18日	
9月	7日	4日	15日	6日「リユース・フォーカスアプローチ」 15日「教育支援資金」
10月	12日	2日	20日	20日 リワーク
11月	9日	6日	17日	20日 課内ミーティング (関係機関からの依頼への対応)
12月	7日	4日	15日	「子どもと家族支援」カゲマド
1月	18日	12日	19日	25日 糸島市多職種連携研修 「8050の50を考える」
2月	8日	5日	22日	22日 課内ミーティング (プランについて協議)
3月	7日	8日	22日	30日 課内ミーティング (相談窓口の相談対象者について)
合計	12回	12回	12回	

(19) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

令和5年度は、実施から2年目として「断らない相談支援」・「参加支援」・「地域づくりに向けた支援」を一体的に行える体制を構築することを目的に3年後の目指すべき姿と各課・各事業の達成目標を作成し、多機関の協働による包括的支援体制構築事業（以下「多機関協働事業」という。）として、事業を推進した。

多機関協働事業の相談では、新規44件、継続247件の他、一般相談（福祉の総合相談窓口）54件と昨年より窓口で直接受ける相談を減らした。

うち支援会議を開催した複雑化・複合化した事例が11世帯13件となり、役割や方向性の整理を行い終結した件数は4件（終結率では36.36%）となった。

次に多機関協働事業の中心となる支援者支援の充実では、市民からの相談を受けた時に、職員によって対応が大きく変わらないようにするため、重層事業における相談対応の基本姿勢と連携の心得や共通の連携シート、支援会議依頼シートを作成し周知をおこなった。

また、相談支援ネットワーク研修会の開催や重層的支援会議で各相談支援機関の紹介など職員同士の顔の見える関係（気軽に相談できる）作りを図った。

・相談者等に対する支援の実施

取り組み	実績
多機関協働	・支援プランの作成 0件
支援会議	支援対象11世帯 13回開催 地域福祉課長名で招集し、情報共有、課題の整理、役割や方向性を決める会議として開催
多機関相談	291件（新規44件、継続247件） 多機関連携の取組では、連携調整を含む917件となり、内訳としては、包括的相談支援事業者が最も多く432件（47.1%）で、次いで庁内各課281件（30.6%）となった。
重層事業の周知啓発	相談対応の基本姿勢・連携の心得～大切にしたい10のこと～を実現したYoutube動画を作成し、編集等を行い次年度の完成を目指す。 完成後は、重層事業に携わる関係者がインターネット上で視聴できるようにする。
相談支援ネットワーク研修会	【1回目】開催日 6月23日 参加者 45人 「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の構築と重層的支援体制整備事業」 講師 同志社大学 永田 祐 教授 【2回目】開催日 2月2日 参加者 53人 「重層的支援体制整備事業が目指すもの」 講師 臨床ソーシャルワーク研究所 衣笠 一茂 氏

・ 会議、研修、講師派遣等

会議
<p>①重層的支援会議（計6回 5/24 7/26 9/27 11/22 1/24 3/27） 九州大学、弁護士、社会福祉法人経営協、保健所の外部委員他、包括的相談支援事業者、関係6課、事務局（所管課、多機関協働事業者）の27人で構成し、2か月に一度開催</p> <p>②庁内連携委員会（計7回 4/20 5/8 6/29 9/8 11/9 1/11 3/7） 地域福祉課 福祉保護課 健康づくり課 介護・高齢支援課 子育て支援課 子ども課 多機関協働事業者で構成 2か月に一度開催</p> <p>③事務局会議（地域福祉課）（計10回）</p> <p>④自立支援調整会議（毎月 生活困窮者自立相談支援機関主催）</p> <p>⑤月末協議（毎月 自立支援プランの協議） ⑥市社協総合相談会議（毎月CSWとの協議）</p> <p>⑦相談支援部会（偶数月の第3金曜日） ⑧ライフレスキュー事業（6回）</p> <p>⑨子ども支援連絡会議（年2回） ⑩糸島地域若者自立支援関係機関連携会議（年1回）</p>
研修
<p>①福岡県ひきこもり支援関係者研修会（7/4）</p> <p>②令和5年度重層的支援体制整備構築推進人材養成事業研修（国）（10/31 ,2/21）</p>
周知啓発・講師派遣等
<p>①志摩地区多職種連携研修（6/8,9/21,10/26 講師 事例検討会）</p> <p>②飯塚市視察対応（7/11）</p> <p>③地域包括支援センター社会福祉部会（7/13 講師）</p> <p>④九州ブロック地域福祉研究会議（1/16～18 発表者）</p> <p>⑤宗像市社協視察対応（2/2）</p> <p>⑥行橋市視察対応（2/8）</p> <p>⑦地域福祉計画・地域福祉活動計画（3/28）</p>

（20）市民後見推進事業

市民後見人の育成を図るため令和元年度及び令和4年度に実施した養成研修の修了者を対象とし、成年後見制度の担い手となるための実践的な知識の習得を目的としたスキルアップ研修会を開催した。また、市民後見推進検討委員会を開催し、糸島市における市民後見人の在り方や、令和6年度に設置となる成年後見制度利用促進のための中核機関についての研究協議を実施した。

・ 市民後見人養成研修 修了者スキルアップ研修

場所 あごら視聴覚室

研修時間 全8時間

対象 令和元年度・令和4年度市民後見人養成研修修了者 34名

開催日時	研修テーマ	講師	参加
6月10日	「市民後見人の活動」 交流会	糸島市社会福祉協議会 (事務局)	13人
10月14日	意思決定支援	福岡県社会福祉士会 野中 勝治 氏	14人
10月21日	意志決定支援Ⅱ 代行決定	福岡県社会福祉士会 野中 勝治 氏	12人
12月2日	不動産登記改正について 遺言書について	福岡県司法書士会 稲毛 翔平 氏	11人

・市民後見推進検討委員会

場所 あごら会議室（第1回のみ市役所4号会議室）

参加者 市民後見推進検討委員5名、市役所地域福祉課3名、市社協事務局2名

開催日時	内容
7月6日	令和5年度糸島市市民後見推進事業計画について 市民支援員活動報告 勉強会「中核機関の役割について」 講師：福岡市成年後見推進センター 係長 小池 紀徹 氏
7月28日	糸島市市民後見推進検討委員会設置要綱改定について 糸島市成年後見制度中核機関設置要綱（素案）等について 中核機関機能と業務分掌について 中核機関設置準備会における協議事項について 中核機関設置スケジュール（案）について
10月6日	市民後見養成フォローアップ研修報告 市民支援員活動報告 権利擁護支援の地域連携ネットワークについて 中核機関の4つの機能について 受任調整会議・ケース検討会議について
12月19日	権利擁護支援の地域連携ネットワーク修正報告 ケース検討会議・受任調整会議アセスメントシート修正報告 市民後見養成フォローアップ研修報告 民生委員・児童委員協議会「成年後見制度」勉強会報告 市民後見人選任の流れ 糸島市市民後見人候補者の登録に関する取扱い要領
3月22日	市民支援員活動報告 後見センター開設チラシ配布実績報告 市民後見人候補者の登録等に関する取扱い要領について 糸島市成年後見制度中核機関設置要綱について 糸島市成年後見制度利用支援事業について 成年後見センターパンフレットについて

・民生委員・児童委員協議会「成年後見制度」勉強会

(参加人数はアンケート回収数とする)

開催日時	地区	会 場	参加
8月17日	二丈	こもれび深江館	27人
9月20日	志摩	健康福祉センターふれあい	33人
10月18日	前原	健康福祉センターあごら	95人

11. その他（社会福祉法人の公益的な取り組みも含む）

(1) ライフレスキュー事業の実施

ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携を行い、糸島地区連絡会を開催して、制度のはざま問題への対応や困窮者に対する支援を行った。

[支援件数]

相談件数	8件
支援件数	4件
現物給付件数	1件

[支援内容]

- ・高齢者のホームレス支援 48,439円
- ・引きこもり支援では、中間的就労として、あごらデイサービスで2名を受入れる。
- ・ゴミ屋敷支援1件

糸島地区連絡会の開催

市社協は、連絡会事務局を担当し、連絡会を6回開催した。

連絡会では、他法人との協働支援の仕組みを図るため地区別担当表を作成した他、視察研修も開催し、粕屋地区連絡会メンバーとの意見交換を行う。

また、糸島地区連絡会での炊き出しを企画し、二丈フードパントリーの開催に合わせ実施する。参加者70世帯127人（子ども25人含む）に焼きそば、ごはん、豚汁を提供し、大変喜ばれた。

中間的就労では、2名の就労にブランクのある方をデイサービスで受け入れ、相談支援機関、事業所と連携した支援を行った。

1.2. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

① 居宅介護支援事業

糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

1. 総括

令和5年度は総合職3名・一般職3名・再雇用2名・パート2名の職員体制であった。困難ケース受託は6件で、前原東包括から3件、前原西包括から2件、志摩包括から1件の依頼だった。必要な介護が受けられない金銭に係るネグレクト・独居のためケアプラン以外の支援・認知症による頻繁な電話等があり、通常業務以上の手間や時間を要した。精神疾患の家族からの頻繁な電話や暴言が続いており、基幹型包括や前原西包括及び社協事務所と協力し対応した。令和6年3月に退職者が2名あり、要支援者を数名包括へ移行したため、今年度の1人当たりの担当件数が結果的に減少した。

2. 実績

(1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	述べ
要支援1	5	5	5	6	7	6	6	5	7	6	5	3	6	66
要支援2	15	15	11	14	15	16	16	17	18	19	20	17	16	193
要介護度1	72	71	69	73	69	68	72	73	76	79	73	72	72	867
要介護度2	72	74	77	73	70	70	70	71	69	70	71	71	72	858
要介護度3	35	41	39	38	40	37	34	37	40	38	39	39	38	457
要介護度4	24	20	20	19	19	19	21	24	24	24	23	24	22	261
要介護度5	15	15	15	14	15	15	15	15	16	14	14	13	15	176
令和5年度計	238	241	236	237	235	231	234	242	250	250	245	239	2,878	
令和4年度計	245	252	250	252	251	251	250	249	253	246	235	242	2,911	

(2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和5年度	24件
令和4年度	28件

(3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和5年度	84件
令和4年度	79件

(4) 地域別状況

令和6年3月末現在

介護

前原地区	162件
二丈地区	30件
志摩地区	21件
福岡市	8件
その他	3件

支援

前原包括	0件
前原西包括	1件
前原東包括	13件
二丈包括	0件
志摩包括	6件

②訪問介護事業

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション

1 総括

令和5年度は、新規の依頼を受けても短期間の支援が多く長続きしない。施設入所される方も増加。利用者の身体状況も刻々と変化しており、支援の必要性が高まったと考えられる。現在、就業しているヘルパーの高齢化が益々進行しており、後継者の育成や人材確保が今後の課題である。また、今後はヘルパーに更なる専門性を求められることから、スタッフ研修に力を入れ利用者の様々なニーズに対応できるように努める。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													5年度	4年度
身体介護 時間	262.2	265.5	255.8	256.4	270.3	246.2	239.2	225.5	205.9	209.9	196.0	202.2	2,835.1	3,427.9
身体生活 時間	96.8	98.0	109.0	133.8	120.3	120.3	126.5	137.0	137.5	130.0	127.0	128.3	1,464.5	1,554.2
生活援助 時間	272.5	270.5	259.2	243.6	234.9	217.2	279.5	275.9	249.9	252.6	238.5	244.6	3,038.9	3,912.8
令和5年度計	631.5	634.0	624.0	633.8	625.5	583.7	645.2	638.4	593.3	592.5	561.5	575.1	7,338.5	8,894.9
令和4年度計	804.0	813.9	777.6	787.1	763.2	779.3	775.9	741.7	746.8	653.0	608.9	643.5	8,894.9	

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1.7	20
要支援1	11	12	12	13	14	15	15	16	17	15	14	15	14.1	169
要支援2	21	22	23	23	22	23	22	23	23	26	22	23	22.8	273
要介護1	10	9	10	8	8	8	10	10	10	10	9	8	9.2	110
要介護2	16	16	17	17	17	16	18	16	14	14	14	14	15.8	189
要介護3	7	5	6	7	6	5	5	3	7	5	6	5	5.6	67
要介護4	8	6	5	5	4	6	6	5	4	5	5	4	5.3	63
要介護5	6	6	7	7	6	6	6	8	7	6	6	5	6.3	76
令和5年度計	81	78	82	82	79	81	84	83	83	82	77	75	80.6	967
令和4年度計	90	92	88	89	91	89	89	84	85	79	78	77	85.9	1,048

(3) 自主事業

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
時間	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

1 総括

令和5年度は職員14名でのスタートだったが、長い間ご利用していただいた深夜支援の利用者の逝去に伴い夜勤がなくなった事で4名の離職者があったり、半年間病気休暇で欠員が発生するなど、一時夏の間は9名体制になってしまい、ご利用者様の拡充が積極的に行きなかつた。入院や入所等で利用終了になる利用者もいる一方で、年間通して新規ご利用者も途切れてはならず、年度末には他事業所のサービス提供終了に伴い、一度に多くの新規利用者の受入れを行っている。今後も利用者のニーズを適切につかんで介護サービスを提供していくことを心掛け、支援量の拡充や信頼アップに努めていきたい。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													5年度	4年度
身体介護 時間	95.3	83.5	99.5	76.3	84.8	89.1	86.2	88.0	93.5	85.5	81.5	97.3	1,060.5	899.8
身体生活 時間	89.0	42.0	35.5	36.0	39.0	28.5	21.0	36.0	23.5	23.0	21.5	67.5	462.5	930.1
生活援助 時間	214.6	218.6	218.3	234.1	228.3	231.5	247.3	248.5	215.1	208.6	172.1	203.3	2,640.3	2,942.3
令和5年度計	398.9	344.1	353.3	346.4	352.1	349.1	354.5	372.5	332.1	317.1	275.1	368.1	4,163.3	
令和4年度計	372.4	380.1	405.3	460.6	458.8	402.0	459.1	458.3	358.0	324.9	313.6	379.1		4,772.2

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	4	4	6	5	5	5	5	5	5	7	6	8	5.4	65
要支援2	15	13	16	16	15	15	18	18	17	14	15	19	15.9	191
要介護1	10	10	10	11	12	12	13	12	13	12	12	12	11.6	139
要介護2	8	8	9	6	5	5	4	3	3	2	3	2	4.8	58
要介護3	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	2.2	26
要介護4	3	2	2	3	2	1	1	3	2	1	1	2	1.9	23
要介護5	5	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3.6	43
令和5年度計	46	42	48	45	44	43	47	47	46	43	44	50	45.4	545
令和4年度計	43	49	49	53	49	50	51	52	48	44	44	45	48.1	577

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1	2	3	18
時間	17.5	4.5	5.0	6.5	4.0	4.5	7.5	5.0	6.0	5.0	5.5	12.0	83

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション

1 総括

令和5年度は、利用者数も月平均5名程増加し、新規利用者44名、入院や死亡による中止が30名であった。全体支援時間数も大幅に増加した。その中でも身体介護の時間数が30%増え収益の増加につながった。終末期利用者等の緊急利用の受け入れも積極的に対応した。

介護度別で見ると要支援者の増加が顕著であり、入浴支援の依頼も多かった。また、日常生活のサポートで在宅生活の維持ができる方も多く、引き続き要支援者に対する自立支援に向けてのケアを行っていききたい。ただしヘルパーの稼働時間が増えていることや、ヘルパーの高齢化に伴う人員不足が課題となっている。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													5年度	4年度
身体介護 時間	132.5	168.5	220.5	232.0	223.0	242.0	271.0	221.0	235.0	246.0	309.0	261.5	2,760.0	2,123.0
身体生活 時間	111.5	111.0	72.5	87.0	91.0	88.0	96.5	92.0	86.0	79.0	99.0	121.0	1,134.5	935.0
生活援助 時間	367.0	384.0	334.5	341.5	333.0	356.5	384.0	396.5	427.0	394.0	379.0	412.0	4,509.0	4,446.5
令和5年度計	611.0	663.5	627.5	660.5	647.0	686.5	751.5	709.5	748.0	719.0	787.0	794.5	8,405.5	
令和4年度計	711.0	688.5	623.5	634.0	644.5	563.0	567.5	583.5	627.5	579.0	595.0	687.5		7,504.5

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	5	5	5	6	6	6	6	7	7	6	6	6	5.9	71
要支援1	14	13	14	15	14	17	17	18	16	18	15	15	15.5	186
要支援2	26	28	24	23	23	25	25	25	26	24	23	21	24.4	293
要介護1	10	10	11	11	9	13	13	10	11	13	13	12	11.3	136
要介護2	9	8	9	10	10	10	12	13	11	11	10	12	10.4	125
要介護3	3	3	2	2	2	2	2	2	4	4	3	4	2.8	33
要介護4	6	6	5	7	8	7	6	7	7	7	7	8	6.8	81
要介護5	4	4	6	5	5	5	6	5	5	6	8	7	5.5	66
令和5年度計	77	77	76	79	77	85	87	87	87	89	85	85	82.6	991
令和4年度計	82	80	79	81	75	68	74	77	78	77	77	79	77.3	927

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	3	1	0	2	0	0	2	2	3	2	1	17
時間	0.5	4.5	2.5	0.0	6.5	0.0	0.0	3.0	8.5	9.0	3.0	2	39.5

定期巡回随時対応型訪問介護看護 ヘルパーステーションそれいゆ

1 総括

新型コロナウイルス感染症が世間では一旦落ち着いた様子ではあったが、ヘルパーの訪問にあたっては訪問中の入所施設でクラスターが発生する等、油断できない状況は続いていた。しかしながら素早い予防の対応をすることで大きな混乱はなく支援の継続が出来た。その場合に担当ケアマネとの連携や情報共有が重要だと考える。また随時訪問を可能な限り減らし定期訪問に一日のスケジュールを安定するようにする必要がある。そのためには支援内容や訪問のタイミングを深く検討したり、利用者の変化や早期発見に努めるとともに医療との連携が重要である。

ただし、現状の職員の高齢化が課題であり今後の事業継続のためには、引き続き人材確保に努めていく必要がある。

2 実績

(1) 要介護度別利用者数及び提供回数

単位：人、回

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	人数	4	6	5	6	6	4	5	6	5	4	4	4	59
	定期訪問	183	193	164	135	151	80	103	133	151	121	135	150	1,699
	随時訪問	4	1	0	0	0	0	0	1	0	2	5	0	13
要介護2	人数	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
	定期訪問	102	122	160	165	160	158	164	158	164	160	154	164	1,831
	随時訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	人数	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	30
	定期訪問	178	177	160	166	115	114	139	31	40	41	56	31	1,248
	随時訪問	2	1	3	1	4	9	2	3	2	1	3	0	31
要介護4	人数	1	1	2	4	3	2	2	3	3	2	2	3	28
	定期訪問	61	74	102	134	199	125	126	179	141	130	114	121	1,506
	随時訪問	0	0	2	4	2	3	2	0	2	3	2	1	21
要介護5	人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	定期訪問	103	97	100	107	108	98	100	105	104	75	73	100	1,170
	随時訪問	8	15	14	16	15	14	14	22	17	14	12	15	176
令和5年度計	人数	12	15	15	18	17	14	15	16	15	13	13	13	176
	定期訪問	593	663	604	851	766	612	660	640	600	550	532	566	7,637
	随時訪問	12	17	19	21	21	26	18	26	21	18	17	16	232
令和4年度計	人数	15	16	16	16	14	13	11	14	14	17	16	16	178
	定期訪問	1,001	988	970	955	763	726	643	694	643	715	672	728	9,498
	随時訪問	1	5	7	5	2	12	6	6	5	8	10	6	73

(2) 自主事業

単位：人、時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③通所介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

1 総括

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったものの、他の施設でのクラスターが発生していたため、感染予防策への取り組みを行いながらサービスの提供を実施した。レクリエーションや各種行事、ボランティアの受け入れについては徐々にではあるがコロナ前に戻りつつある。利用者増や収益アップ、利用者の満足度アップに努めていきたいと考えてはいるが現場スタッフの人材不足の課題もある。また、令和6年4月からの報酬改定では基本単価は3単位程度増加したが個別機能訓練加算が9単位減算になり、介護予防支援の事業所評価加算（120単位/月）も取得ができない等、実質的に減算の状況での厳しい運営となる。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	21	22	22	21	23	22	21	22	20	20	21	22	257

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	2	1	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	38
	延利用者数	8	3	10	11	12	13	15	15	15	15	12	17	12	146
要支援1	実利用者数	5	7	7	9	9	8	7	8	7	6	6	7	7	86
	延利用者数	15	23	22	27	30	24	18	24	24	20	22	19	22	268
要支援2	実利用者数	23	21	20	18	18	17	17	13	15	15	16	14	17	207
	延利用者数	145	151	134	134	133	114	94	80	89	91	91	89	112	1,345
要介護度1	実利用者数	26	23	21	20	21	24	25	24	24	25	27	26	24	286
	延利用者数	255	242	214	207	224	244	239	248	241	237	235	271	238	2,857
要介護度2	実利用者数	16	16	14	14	13	15	17	18	18	14	13	13	15	181
	延利用者数	109	110	121	120	123	140	139	167	143	101	103	119	125	1,495
要介護度3	実利用者数	6	7	7	7	7	5	6	5	4	7	7	6	6	74
	延利用者数	67	79	73	66	68	68	67	68	58	75	77	86	71	852
要介護度4	実利用者数	7	5	5	6	4	4	4	4	4	3	4	4	5	54
	延利用者数	60	47	59	63	54	52	52	49	43	26	43	42	49	590
要介護度5	実利用者数	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	5	3	39
	延利用者数	16	18	18	16	28	27	34	33	37	31	36	44	28	338
令和5年度計	実利用者数	87	81	77	78	77	79	83	79	79	77	80	78	80	955
	延利用者数	679	673	651	644	672	690	658	684	650	589	619	687	658	7,896
令和4年度計	実利用者数	91	90	88	88	83	86	84	87	85	84	84	87	86	1,037
	延利用者数	778	758	774	728	612	691	665	676	599	572	603	726	729	8,182

3 生きデイ教室（総合事業）※毎週月曜日に開催

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
令和5年度	実利用者数	25	25	26	23	19	25	23	21	21	20	19	18	22	
	延利用者数	82	89	96	75	57	80	79	75	70	71	67	64	75	905
令和4年度	実利用者数	25	27	25	25	18	20	22	22	20	19	21	21	22	
	延利用者数	92	92	89	84	62	53	76	83	71	67	76	78	77	923

糸島市社会福祉協議会 デイサービス「福寿苑」

1 総括

令和5年度の延べ利用者数は前年度と比べ658名の増加となった。新規利用者も11名と、昨年度に引き続き利用者の獲得ができた。しかし、利用終了者も11名と多く、内訳としては入院、入所、死亡といった理由となっており、令和5年度は大幅な利用者の入れ替えの1年となった。利用増加に関しては、要介護度が上がり利用回数を増やされる方、福寿苑の特徴として毎日利用の傾向が多い事もあり、利用増に繋がっていると思われる。

令和5年度は新しいスタッフが3名加わったが、職員の高齢化に伴い非常勤勤務希望者が増えていく。勤務時間に制限がある為、今後の送迎業務の担い手が課題となりつつある。

また、外部ボランティアの導入、外出行事（ドライブ）、お茶会など活動を増やしご利用者の満足度アップにも意欲的に取り組んだ。令和6年度は新しいボランティアの導入などを検討し、ご利用者が満足できるようなデイサービスを目指していく。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	25	27	26	25	27	26	26	26	26	24	25	26	309

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														延べ	月平均
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実利用者数	4	5	5	4	3	5	6	6	5	5	4	3	55	5
	延べ利用者数	17	21	20	16	15	19	22	25	20	19	15	11	220	18
要支援2	実利用者数	4	3	2	4	4	3	3	2	3	3	3	4	38	3
	延べ利用者数	21	23	17	22	25	16	13	13	17	18	13	17	215	18
要介護度1	実利用者数	7	9	8	8	9	9	9	9	11	11	12	12	114	10
	延べ利用者数	93	95	101	96	106	112	114	118	134	136	154	159	1418	118
要介護度2	実利用者数	3	3	4	4	4	2	2	3	2	2	2	2	33	3
	延べ利用者数	40	45	49	65	66	35	29	52	34	32	33	31	511	43
要介護度3	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19	2
	延べ利用者数	33	35	28	31	32	35	28	9	6	9	11	13	270	22
要介護度4	実利用者数	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	18	2
	延べ利用者数	26	29	24	27	3	4	4	4	5	6	8	13	153	12
要介護度5	実利用者数	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	0.4
	延べ利用者数	10	14	3	0	11	17	0	0	0	0	0	0	55	5
共生型	実利用者数	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25	2
	延べ利用者数	34	36	35	35	36	33	35	33	35	32	33	35	412	34
令和5年度計	実利用者数	25	26	26	26	25	26	24	24	25	25	25	26	303	25
	延べ利用者数	274	298	277	292	294	271	245	254	251	252	267	279	3,254	271
令和4年度計	実利用者数	24	22	20	23	21	21	22	22	22	24	24	26	271	23
	延べ利用者数	207	206	136	218	215	196	222	226	211	209	249	301	2,596	216

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

1 総括

令和5年度は、令和4年度よりも利用者延べ人数が減少している。要因としては、上半期に新規利用者が獲得できていない事と長期間それいゆを利用させていただいた利用者が死亡や施設入所等の理由で利用中止になったことが要因である。10月頃より徐々に新規依頼も増えてきたが入院による中止等の理由で月毎で利用者数の増減が大きくみられている状況である。

令和5年度より、花見、餅つきなどの季節の行事、ボランティアの受け入れ、カラオケの再開などデイサービスの活動を活性化に心掛けている。活動再開に対して利用者からも好評であり、令和6年度も引き続きボランティアの受け入れ、買い物や花見等、更なる活動の幅を広げ、利用者を楽しんでいただける事業所作りを職員全員で取り組んでいきたいと考えている。

また、延長サービス、時間短縮利用、宿泊サービスへの希望にも柔軟に対応しており、今後も利用者の在宅生活継続のためできる限り相談の受付やサービス対応を行っていききたい。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	31	29	31	363

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（述べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
事業対象者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	15
	延利用者数	5	5	4	4	5	3	10	9	7	4	3	4	5	63
要支援1	実利用者数	2	3	4	4	4	3	3	6	6	5	4	3	4	47
	延利用者数	8	14	17	14	11	11	14	23	24	21	16	10	15	183
要支援2	実利用者数	10	10	10	12	9	11	10	9	10	11	11	11	10	124
	延利用者数	64	60	80	87	64	79	74	66	72	63	66	72	71	847
要介護度1	実利用者数	13	13	13	12	10	10	9	12	13	15	19	16	13	155
	延利用者数	127	142	151	142	117	111	108	135	136	152	184	182	141	1,687
要介護度2	実利用者数	7	7	6	6	7	6	8	6	9	9	10	10	8	91
	延利用者数	86	73	69	60	92	58	81	62	76	87	101	109	80	954
要介護度3	実利用者数	6	6	2	5	5	3	5	4	6	6	7	6	5	61
	延利用者数	70	81	27	57	53	41	52	58	84	67	62	57	59	709
要介護度4	実利用者数	3	4	5	3	6	5	5	7	8	4	4	4	5	58
	延利用者数	24	23	47	32	49	37	61	69	74	70	72	52	51	610
要介護度5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	10	9	9	10	10	9	8	9	8	8	8	9	9	107
共生型	実利用者数	1	2	2	1	2	1	3	4	3	3	4	3	2	29
	延利用者数	6	9	7	8	15	5	13	22	17	17	17	15	13	151
令和5年度計	実利用者数	45	48	45	46	46	42	47	52	59	56	62	56	50	604
	延利用者数	400	416	411	414	416	363	421	453	498	489	529	510	443	5,320
令和4年度計	実利用者数	48	47	45	47	44	47	49	50	52	53	52	45	48	579
	延利用者数	497	459	459	460	426	436	502	494	454	402	432	424	454	5,445

(3) 泊まり（自主事業）

単位：日、人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	1	4	1	3	2	3	9	12	15	15	10	11	86
実利用者数	2	2	1	2	2	2	3	2	2	1	3	1	14
延利用者数	0	2	0	0	2	0	1	1	3	3	2	3	14

④障がい居宅介護事業

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和5年度は、介護者の高齢化や入院などにより利用者の施設入所や自立により利用も減ったが、少しずつ新規の依頼も増えてきている。ヘルパーの高齢化も進んでおり、従業員の確保も課題になっている。住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう支援していくとともに、喀痰等吸引の有資格者を12名に増員することで、更に多様なニーズに対応できるように努めていく。

(1) サービス内容別利用者数及び提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	121.3	94.2	110.5	93.1	67.5	111.3	111.3	120.1	127.2	104.6	109.5	118.0	1,288.6
生活援助 時間	173.0	189.3	200.2	184.4	174.2	182.2	185.5	179.5	171.3	160.5	169.3	173.2	2,142.6
移動支援 時間	9.3	12.3	11.2	20.3	21.8	22.4	20.6	23.8	15.0	14.0	33.4	38.0	242.1
行動援護 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0	10.4
同行援護 時間	7.3	9.3	6.3	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	11.3	11.2	4.3	61.0
重度訪問 時間	81.5	81.5	74.0	82.2	61.4	31.2	81.2	70.2	83.0	78.2	52.2	66.3	842.9
令和5年度計	392.4	386.6	402.2	389.0	324.9	347.1	398.6	393.6	398.8	368.6	386.0	399.8	4,587.6
令和4年度計	488.5	500.7	521.1	451.6	373.9	387.3	486.9	487.8	471.0	427.4	411.2	348.6	5,356.0

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.2	38
障害程度区分3	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8.4	101
障害程度区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	4	4	4	4.2	50
障害程度区分6	3	4	4	4	4	5	6	6	6	6	6	6	5.0	60
令和5年度計	22	23	22	22	22	21	22	23	23	22	22	22	21.8	261
令和4年度計	25	26	25	25	24	26	26	26	26	26	25	23	25.2	303

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和5年度は前年と大きく変わらず、安定した内容となった。年度初めに利用者の逝去による支援終了が2名立て続けにあり、新規で支援開始となった方も今年度いっぱい介護保険に移行になるため、これからの新規利用者獲得に努めたい。同行援護に関しては利用者からの信頼も厚く、利用量増を強く希望されたため、対応できる職員を1名増やして（研修にて資格を取得）対応した。今後もご利用者様に信頼いただける支援を心がけたい。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護 時間	14.0	12.0	13.0	12.5	12.5	11.5	13.5	12.0	13.0	13.0	12.5	12.0	151.5
生活援助 時間	33.5	35.0	34.0	32.0	32.0	32.5	42.5	41.5	40.0	41.0	39.5	41.0	444.5
同行援護 時間	3.0	3.0	3.0	6.5	4.0	4.0	5.5	7.0	6.5	2.5	10.5	9.5	65.0
令和5年度計	50.5	50.0	50.0	51.0	48.5	48.0	61.5	60.5	59.5	56.5	62.5	62.5	661.0
令和4年度計	51.5	48.0	54.3	71.0	75.3	62.8	60.3	60.8	52.8	59.3	59.5	74.0	729.6

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	36
障害程度区分4	3	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1.7	20
障害程度区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.1	1
不明・区分なし その他	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
令和5年度計	9	7	7	7	7	7	8	8	8	9	8	8	7.7	92
令和4年度計	9	9	9	10	10	9	9	9	9	10	9	9	9.3	111

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション（障がい居宅介護事業）

1 総括

令和5年度は、利用者数としては横ばい状態となった。

内容として身体障がい者の通院介助が増加したこと、事業開始から初めて重度訪問介護の利用があった。その他として移動支援に年間85時間程度支援を行った。

障がい居宅訪問サービスが利用者の在宅生活の維持に必要な不可欠なサービスであることを再確認することができた。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)
身体介護	時間	46.0	39.0	36.0	42.0	48.0	42.0	39.0	49.5	50.0	54.5	62.5	59.5	568.0
生活援助	時間	145.0	147.0	147.5	147.5	136.0	152.5	158.0	150.5	152.0	153.5	144.5	157.0	1,791.0
同行援護	時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重度訪問	時間	3.0	4.5	12.0	14.0	13.0	8.0	13.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.5
令和5年度計		194.0	197.5	195.5	203.5	197.0	202.5	210.0	214.0	202.0	208.0	207.0	216.5	2,447.5
令和4年度計		168.0	188.0	173.5	188.5	184.0	186.5	216.5	194.5	194.0	187.5	205.0	199.5	2,285.5

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
													月平均	延べ	
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	
障害程度区分2	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5.6	67	
障害程度区分3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3.2	38	
障害程度区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4.1	49	
障害程度区分5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.1	50	
障害程度区分6	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.9	23	
令和5年度計		18	18	18	18	18	19	20	21	19	20	19	19	18.9	227
令和4年度計		19	20	21	19	20	21	20	21	19	19	19	20	19.8	238

⑤障がい者生活介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター（基準該当生活介護）

1 総括

令和5年度は基準該当生活介護においても、延利用者数が減少している。原因としては長期間利用していた方が介護保険に移行されたり、施設入所されたことが挙げられる。また、その間に新規利用者の獲得もできなかったことも利用者数の減少につながっている。

現利用者の状況としては、実利用者数は11名、年齢層は20歳～60歳代となっているが、重度者も多く機械浴での入浴サービスやリハビリに要する時間も多いため、介護保険に比べ利用者一人につき必要なマンパワーの比重が重い状況であるが、基準該当生活介護が利用者の心身の機能維持に効果も認められるため更なるサービスの充実を目指していくとともに、今後も障がい者相談支援センターの担当者と密に連携を図り、新規利用者の獲得に努めていく。

2 実績

(1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分2	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分3	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	延利用者数	10	11	11	9	5	11	6	10	9	9	9	10	9	110	
障害程度区分4	実利用者数	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
	延利用者数	27	13	13	10	14	13	13	13	11	11	8	13	13	159	
障害程度区分5	実利用者数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	35	
	延利用者数	31	35	33	31	39	26	31	35	31	33	31	35	33	391	
障害程度区分6	実利用者数	6	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4	5	59	
	延利用者数	62	55	67	55	60	67	60	66	59	61	54	44	59	710	
令和5年度計	実利用者数	13	11	11	11	10	10	11	11	11	11	11	10	11	131	
	延利用者数	130	114	124	105	118	117	110	124	110	114	102	102	114	1,370	
令和4年度計	実利用者数	10	12	14	14	13	13	14	14	15	11	13	13	13	156	
	延利用者数	112	119	136	138	98	123	131	143	133	124	128	158	129	1,672	

*令和5年度は新型コロナウイルス感染症について、スタッフが個別に感染する等の事例は5例程度あったが施設内クラスターは発生せず、事業所を閉鎖することはなかった。

(2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	1	0	3	4	2	10
知的障害	0	0	0	1	0	0	1
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	4	4	2	11

障がい者生活介護事業所ひまわり

1 総括

令和5年度は実利用者数に増減はなく、上半期は一日平均7.8人を超えており7月、9月は一日平均8人と利用者数は好調であったが、下半期は他事業所との新規併用や入所に向けたメインとなる事業所への変更、入院など利用者の生活環境が変化したことにより利用数が減少に転じた。稼働日数は303日で延べ利用者数は2,291人と令和4年度の2,231人と比較するとほぼ横ばいの状態である。令和5年度の特別支援学校の実習生を医療ケア者が2名と重度心身障がいの方を1名、受け入れを行った。今後も特別支援学校の実習生の積極的な受け入れを行い、利用者獲得を目指していく。今年度は季節行事やイベントごとの作品制作に力を入れ取り組むことができた。利用者が作品を家に持ち帰り、ご家族が作品を見て喜ばれることも多く、今後も作品作りに力を入れていきたい。外部講師による音楽療法では喜んで利用者が参加している様子がみられるため引き続き定期的に継続していき、満足度の向上に繋げていく。

2 実績

(1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	3	4	3	3	3	3	1	4	2	3	3	3	3	35
障害程度区分4	実利用者数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	延利用者数	31	33	29	35	37	35	30	38	31	34	36	39	34	408
障害程度区分5	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	延利用者数	40	41	45	37	42	40	40	42	37	34	38	36	39	472
障害程度区分6	実利用者数	12	11	11	13	13	12	12	12	9	10	12	11	12	138
	延利用者数	121	133	128	126	130	125	117	103	103	91	94	105	115	1,376
令和5年度計	実利用者数	19	19	19	21	21	20	20	20	17	18	20	19	19	233
	延利用者数	195	211	205	201	212	203	188	187	173	162	171	183	191	2,291
令和4年度計	実利用者数	19	17	18	16	16	17	15	18	17	13	18	19	17	203
	延利用者数	192	193	203	183	203	171	174	191	170	162	187	202	186	2,231

(2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	4	2	5	0	1	12
知的障害	0	4	5	0	0	0	9
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	8	7	5	0	1	21

◎放課後等デイサービス事業

障がい児放課後等デイサービスあごらクラブ

1 総括

今年度は、新型コロナウイルスも5類となり、前年度と比較し開所日数は2単位で13回増え、利用者数も増員となる。しかしご家族の感染、体調不良などでキャンセルも多く、前年度と比較しても利用者延べ人数は46名しか増員できなかった。その他の要因としても、7月に週6回利用の児童が1名、1月に週3回利用の児童が3名の解約があったことが挙げられる。

従業員の増減では、非資格者の新人職員が増え、児童指導員等加配加算が1日児童1名につき187単位取得していた加算が90単位へ変更となり収入が減少した。しかし個別サポート加算や強度行動障害支援加算、欠席時対応加算、送迎加算等を継続して算定し、減収をできるだけ防ぐことを考えた。令和6年度は大幅な報酬改定となり、新加算も多く収入増減の見込みの予測が難しい。資格保持職員の増員が今後あれば、児童指導員加配加算を再取得し収入面の安定を図っていきたい。また強度行動障害支援研修終了の資格取得者を増やすことで、新加算へ対応するとともに、職員のスキルアップや人材育成に努めていく。

2年前から利用支給日数の上限が23日以下となり、総利用日数が減ったことで、土曜日の利用者数が減少している。今年度はその対策として、土曜日や長期休暇中のイベントの中で労働体験や屋外活動を積極的に開催し、利用児童に楽しみながら様々な体験の場を提供し、保護者も巻き込んで一人ひとりの児童の成長を促すことで、利用児童や保護者が安心できるデイサービス活動を提供していきたい。

2 実績

(1) 開所日数

単位：人

単位名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
そら(1階)	24	23	26	24	24	24	24	24	24	22	20	25	284
にじ(2階)	24	24	26	25	24	24	25	24	24	22	22	25	289

(2) 登録児数及び延べ利用児数

単位：人

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
													月平均	延べ	
登録児数	そら	19	19	19	19	18	19	19	19	19	18	19	19	18.8	
	にじ	17	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	16	16.1	

延利用児数	そら	205	197	222	205	190	205	185	197	199	169	166	195	194.6	2,335
	にじ	208	198	195	198	185	181	185	187	191	165	156	189	186.5	2,238
令和5年度計	合計	413	395	417	403	375	386	370	384	390	334	322	384	381.1	4,573
令和4年度計	合計	372	405	454	311	355	386	402	394	312	361	334	441	377.3	4,527

(3) 利用者内訳

単位：人

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	
小学部	知的	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14.8
	身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
中学部	知的	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	5	6.9
	身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等部	知的	11	11	11	11	11	11	11	11	11	13	13	13	11.5
	身体	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1.9